

くらしと経済を

支えるインフラ

—インフラのストック効果—

道路や港湾、堤防といったインフラの蓄積は
アクセス性の向上や物流コストの低減、水害の防止など
経済活動の効率性を高め、投資リスクを低減します

その結果

生産力を拡大させ、工場の立地・雇用の増加など
くらしや地域経済に長期にわたって効果をもたらします

このように様々な形で
私たちのくらしと経済を支えるインフラを
ご紹介します



ストック
効果

十勝の産業を支える交通基盤 生乳生産量が増えた！

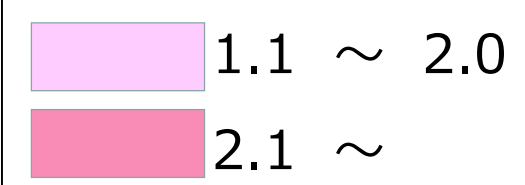
帯広・広尾自動車道、十勝港(北海道)

1

before >>> after

帯広圏及び南十勝における食料品製造業の立地

食料品製造業出荷額
伸び率 (H14-H24)



■ 乳製品工場 (H20稼働)



■ 食品加工工場
(H12, H18新商品ライン稼働)



■ 乳製品工場
(H21~H25新施設拡張)



■ 乳製品工場 (H25増設)



■ 穀物サイロ
(H23稼働)



■ 配合飼料工場
(H23稼働)



1 帯広・広尾自動車道の沿線では乳製品などの工場立地とともに従業員数も増加

2 付加価値が高い加工食品が生産され、沿線自治体の食料品出荷額も増加

3 札幌等へのアクセス性が向上、酪農王国十勝では、生乳の生産量が増加し、平成25年には過去最高の生産量を記録

十勝の生乳生産量は、7年連続で増加
酪農・畜産業に必要な飼料について、十勝港での取扱量がH25/H20比で約4倍に増加

高規格道路
H13年度まで開通
H26年度まで開通

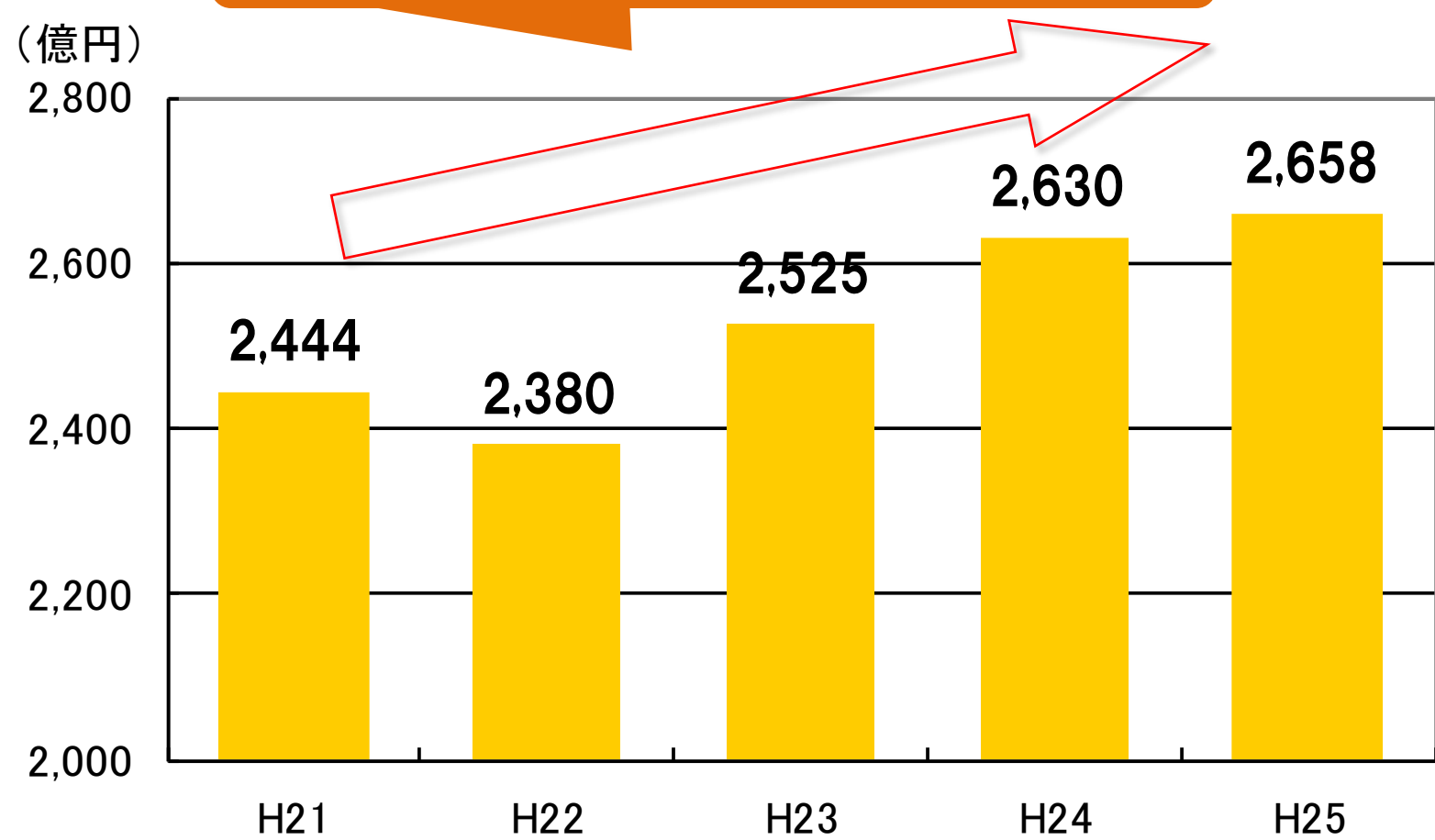
★ 主な食料品関係加工工場
(H25年までに稼働・増設等)

★ 主な食料品関係加工工場
(一部H13年までに増設等)

□ 十勝管内

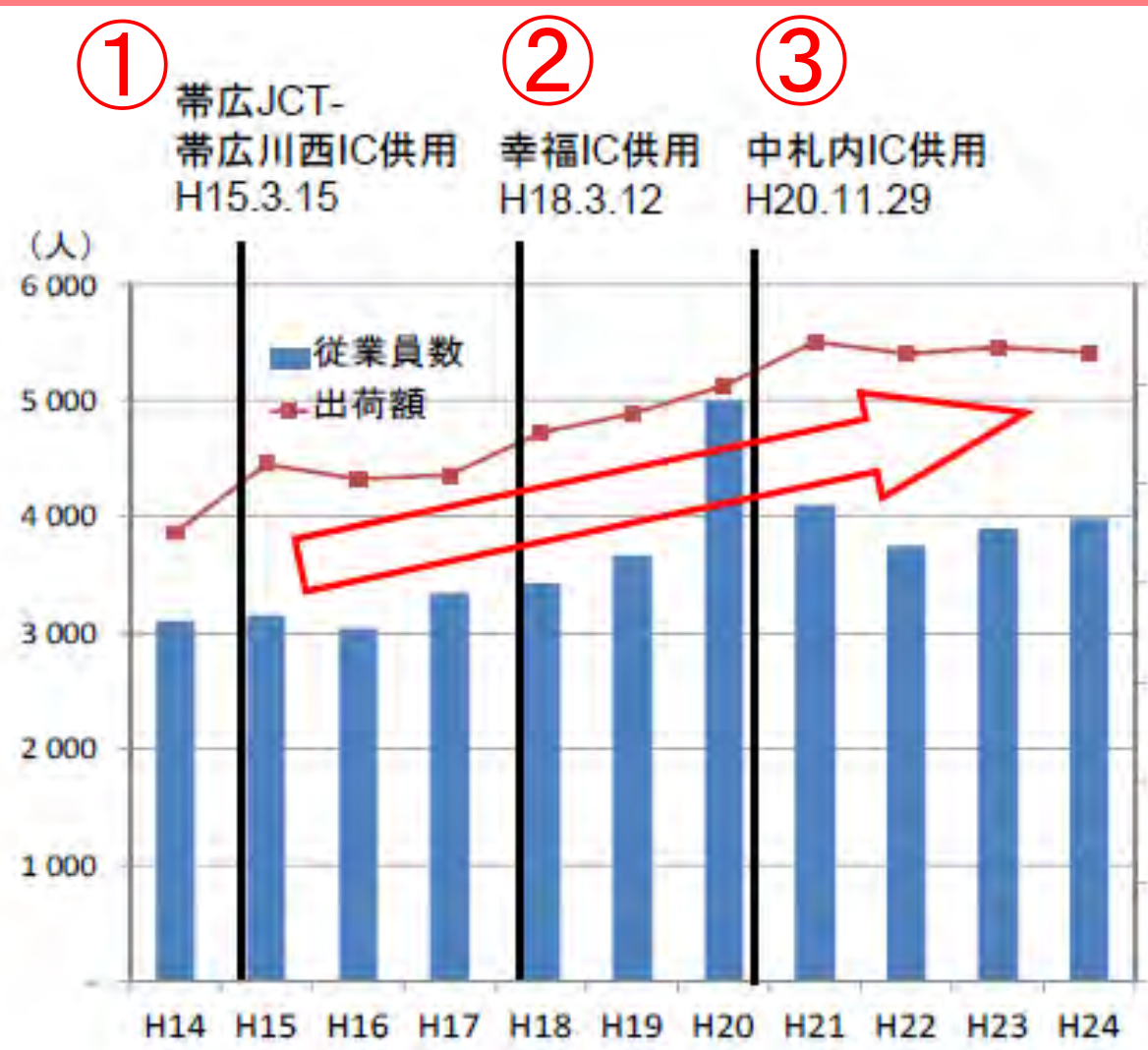
十勝の農業産出額(JA取扱高)の推移

十勝の農業算出額は増加傾向



資料: 十勝総合振興局「2013十勝の農業」

十勝食料品製造業出荷額・従業員数の推移



資料: 経済産業省「工業統計調査(H14~H24)」

帯広・広尾自動車道延伸と共に沿線自治体の出荷額、従業員数は増加傾向

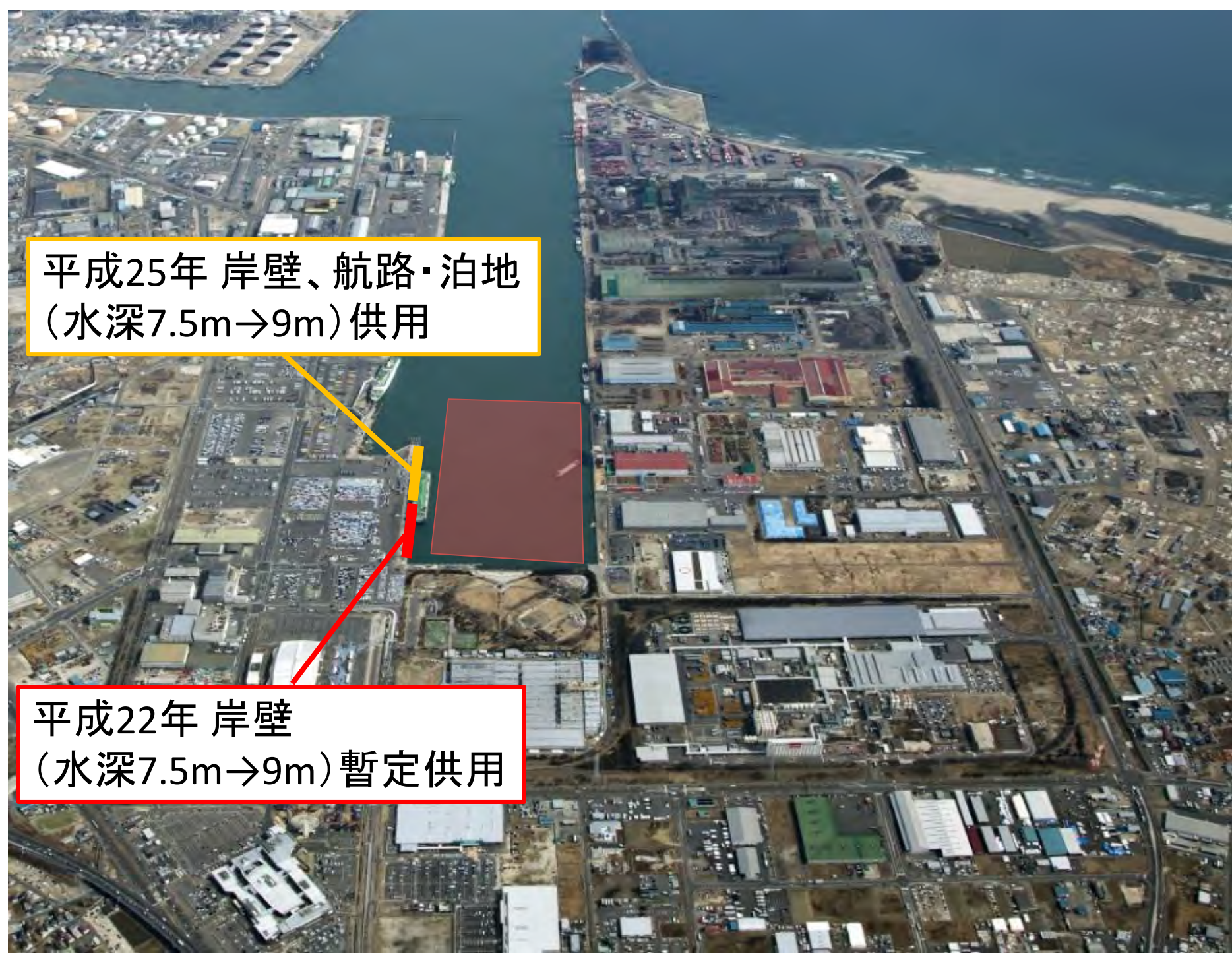
ストツク効果

震災からの復興 東北の完成自動車積出拠点

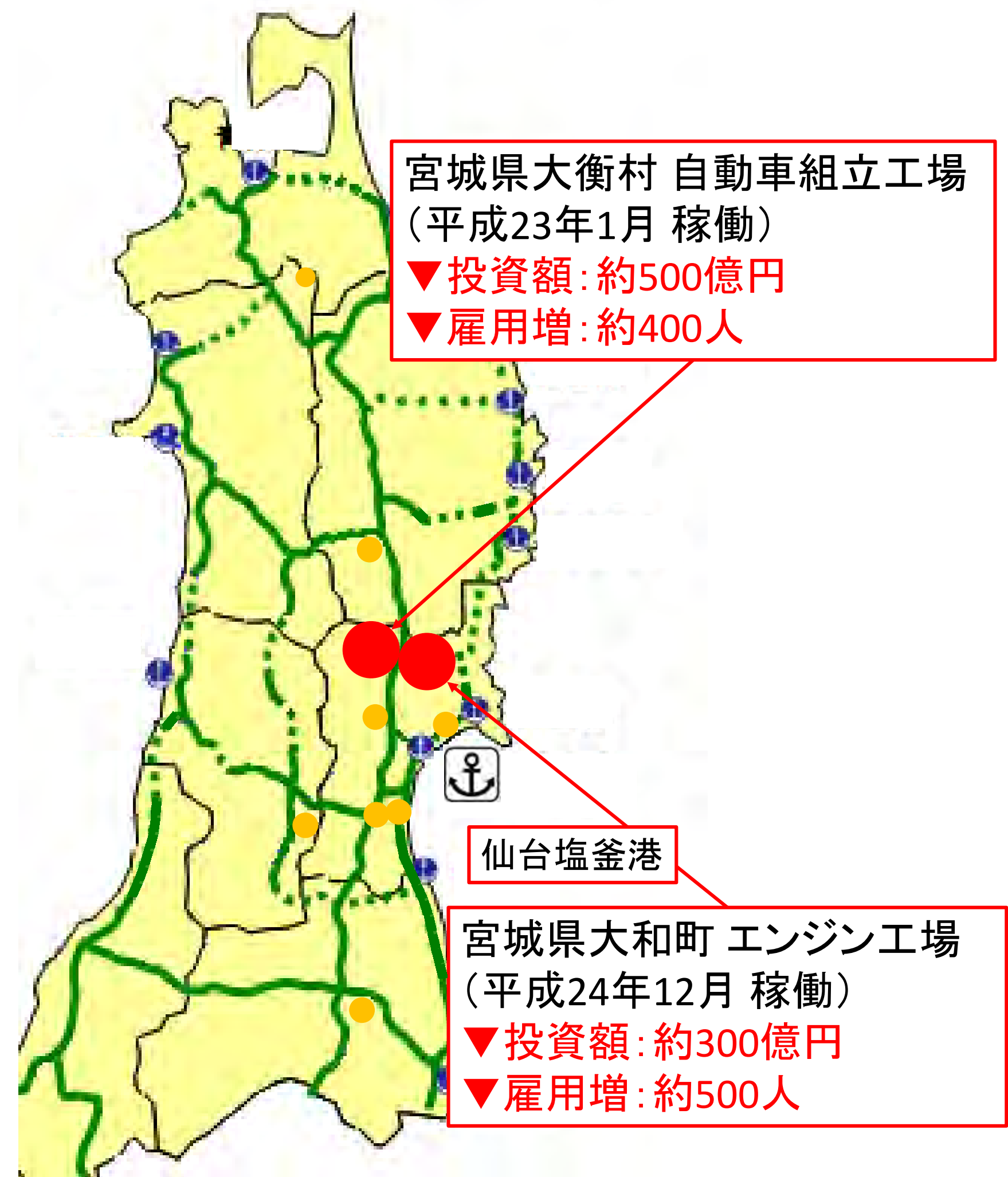


仙台塩釜港(宮城県)

● before >>> ● after



関連産業の立地等状況

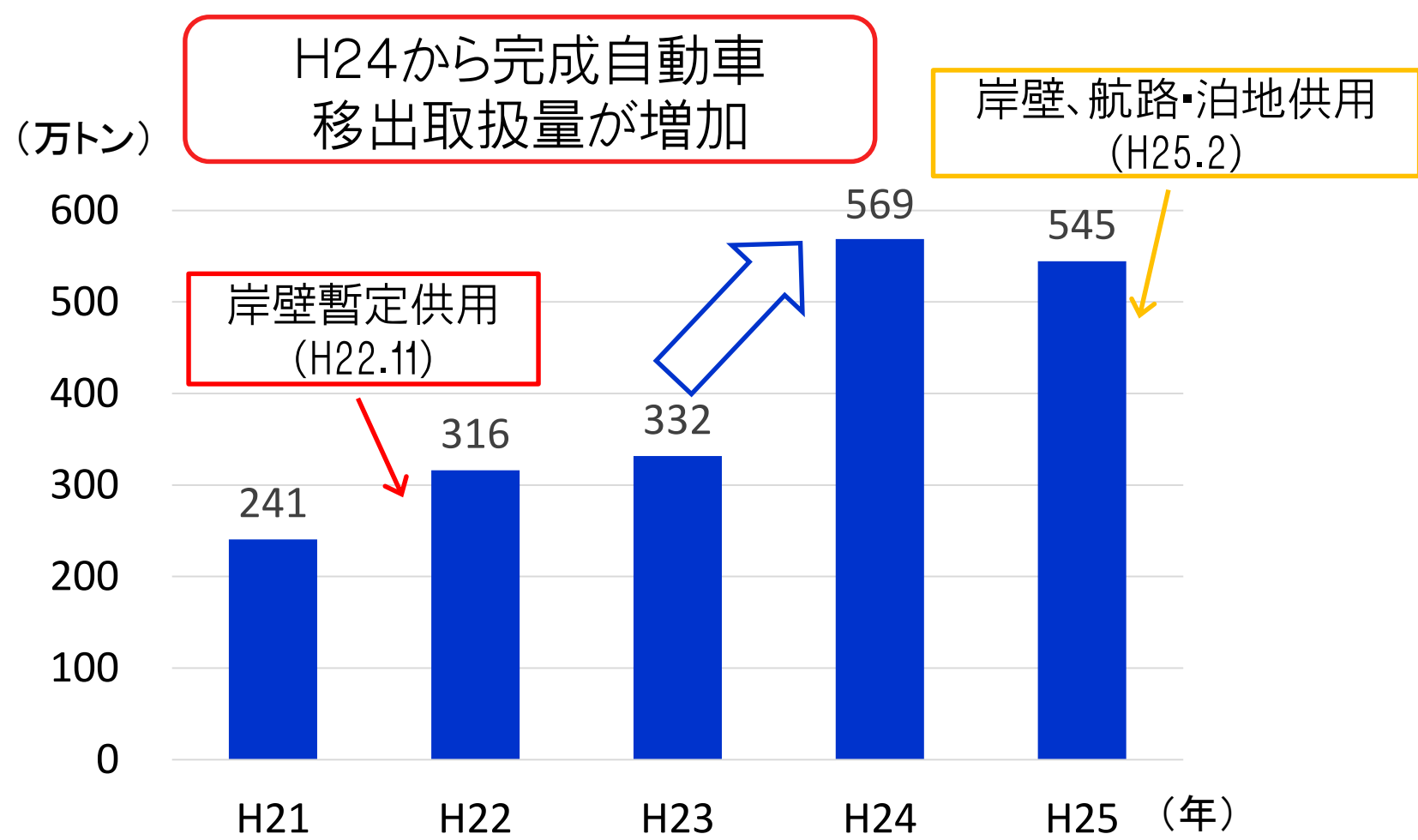


自動車メーカーの操業開始に併せ、仙台塩釜港の自動車の取扱能力を年間38万台から60万台に強化(水深7.5m→水深9mなど)

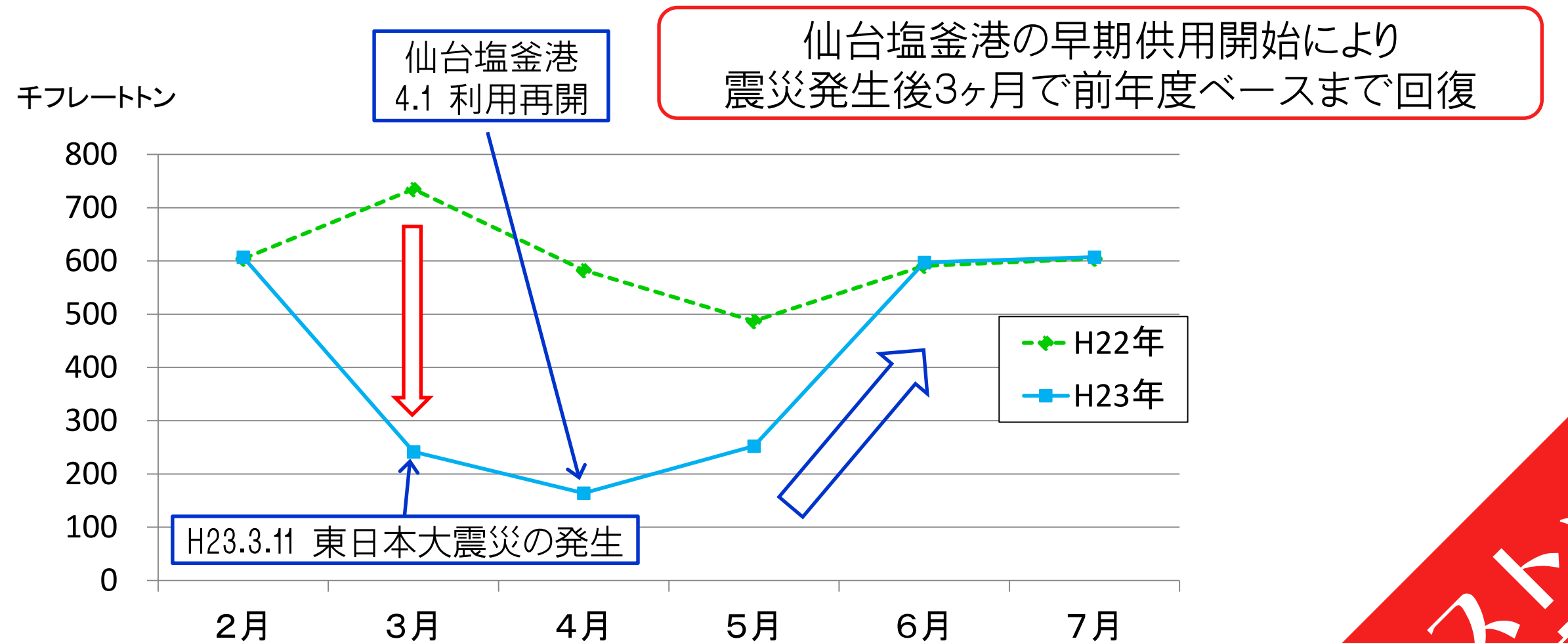
併せて、仙台北部道路など機能的な物流インフラの存在や宮城県の企業誘致により、企業の投資を実現

東日本大震災後、仙台塩釜港の早期利用再開などにより、自動車メーカーの生産活動の回復を後押し

完成自動車移出取扱量



仙台塩釜港(仙台港区) 完成自動車取扱の推移



ストツリ効果

地下の大神殿が支える 春日部の暮らしと産業



首都圏外郭放水路(埼玉県)

3

before
整備前(2000年)



after
整備後(2014年)



■ 首都圏外郭放水路整備後に立地した物流倉庫、ショッピングセンター等
- - 産業指定区域

1991年の水害の様子



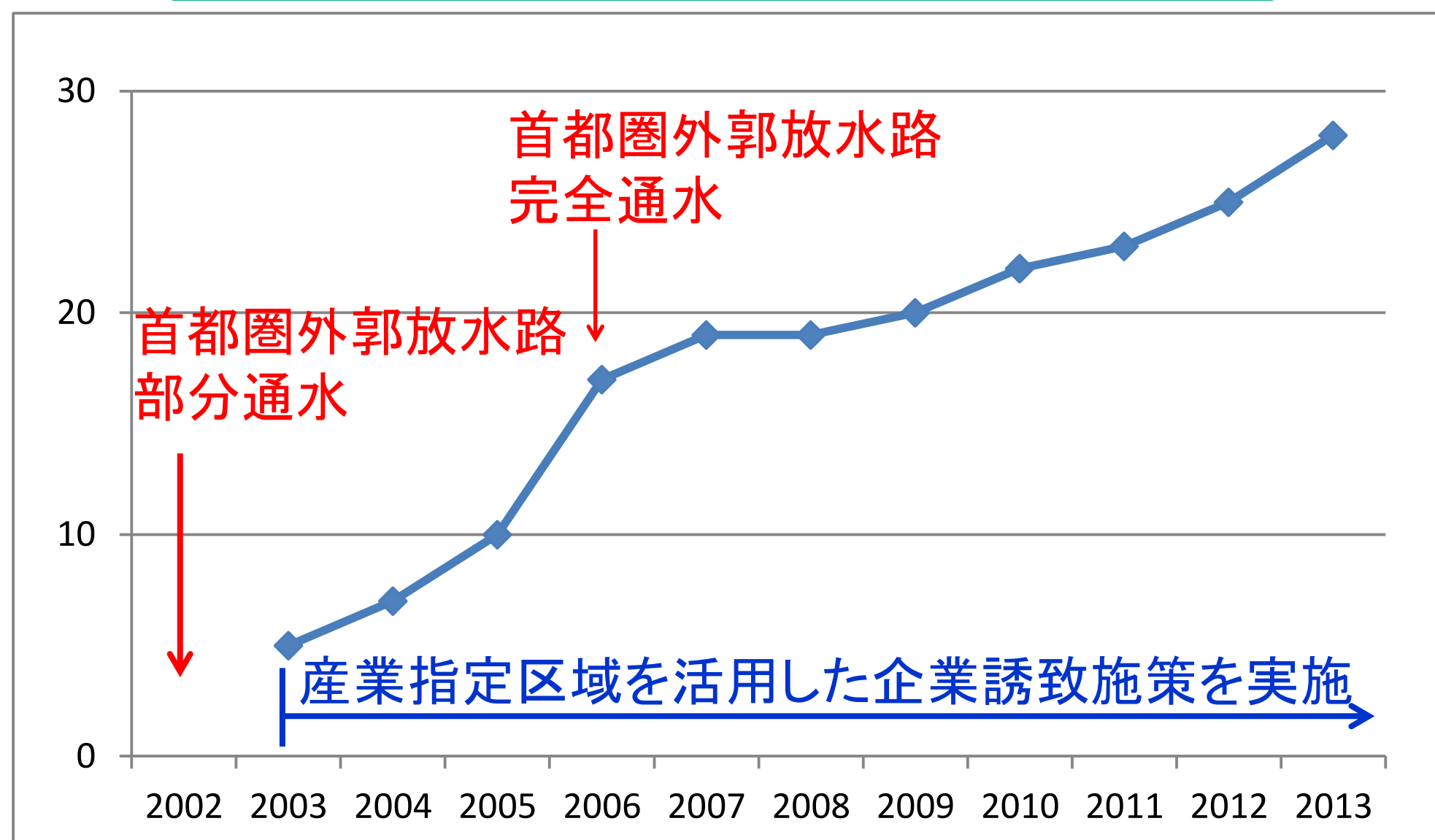
春日部駅前

春日部駅前

- 首都圏外郭放水路等の整備により水害が軽減
(1980年代→2000年代では被害が1/10以下)
- 春日部市では、首都圏外郭放水路の部分通水後の2003年度から「産業指定区域」※1を指定して、企業誘致を推進
- 「水害に強い都市基盤」※2を積極的に広報し、企業を誘致・物流倉庫やショッピングセンター等が立地

※1 都市計画法第34条第12号に基づく指定
※2 「水害に強い都市基盤」を広報し企業を誘致(春日部市HPより)

産業指定区域内に新たな企業が進出



進出企業からの声

外郭放水路が通っているため、水害の発生の危険性がないと考え災害にも強いまちであると実感しております。

(株)玉俊工業所 <流通>



世界最大級の地下放水路である首都圏外郭放水路が通っているため、水害で倉庫が水浸するのを防ぎ商品を守ることができる点が良かったと思います。

(株)小原運輸倉庫 <運輸>



進出企業からは、「水害に強いまちであると実感」などの声(春日部市HPより)

ストツリ
効果

高速道路がわが街にきた！ 企業の立地が進んだ！



首都圏中央連絡自動車道・
京浜港・成田空港(首都圏域)

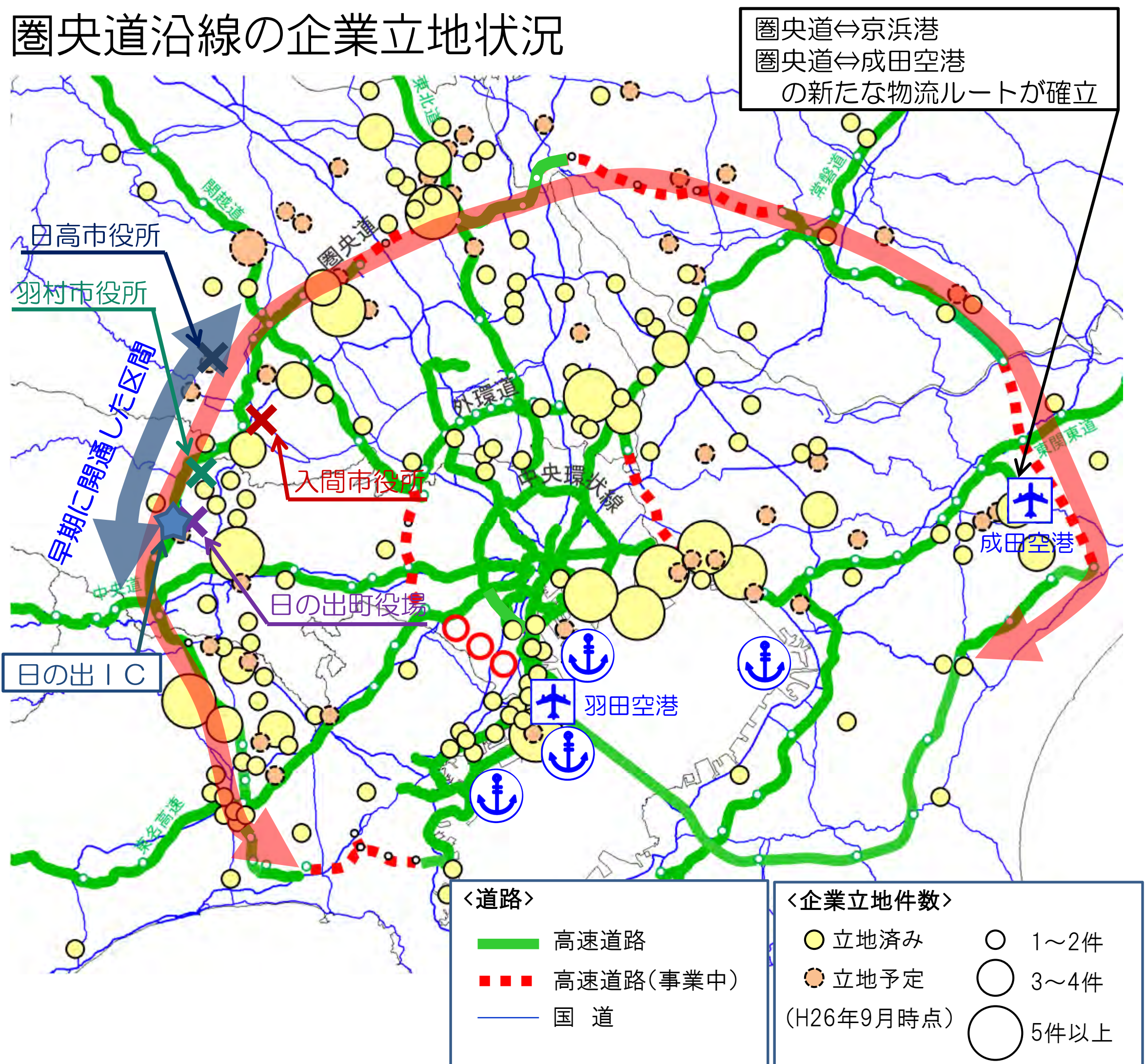
<立地例> GLP厚木 延べ床面積:約106,839㎡ 竣工:平成25年12月

● before

▶▶▶ ● after

- 集約化や大規模化等の物流ニーズを受けて、物流施設等が**圏央道沿線へ新規立地**
- 早期開通区間沿線の物流施設では、製造品出荷額が開通前と比べ、**1.2~1.7倍に増加**
- 国際コンテナ戦略港湾・京浜港と首都圏各地の**アクセス性が向上し、我が国の国際競争力の強化に寄与**

圏央道沿線の企業立地状況



日の出IC周辺で企業進出

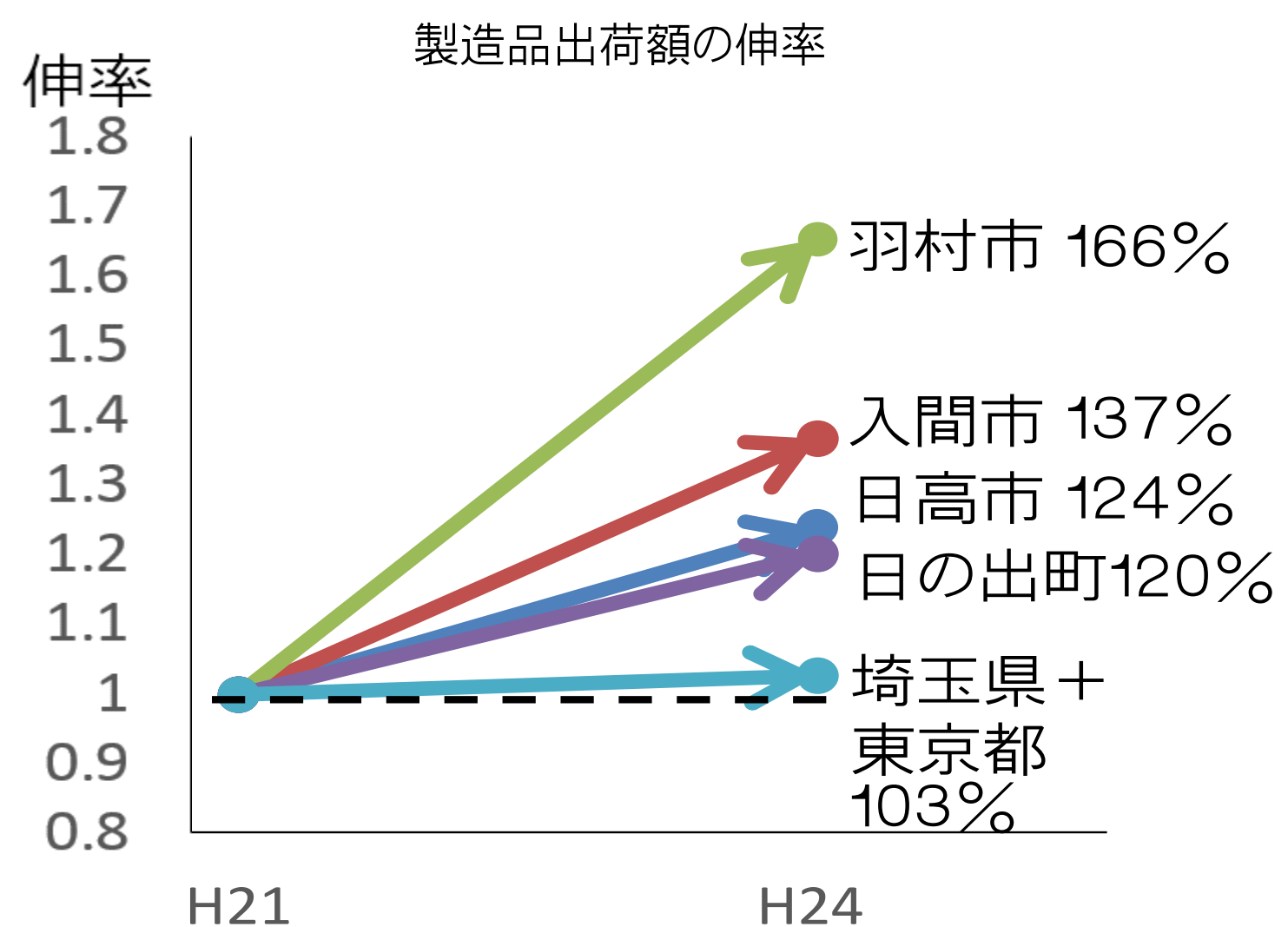
- 「三吉野工業団地」等に企業が立地
- 就業者数約1.8倍(3,200人増)(H2→H22)等の効果



※三吉野工業団地
 ・H10.10:区画整理事業完了
 ・立地率ほぼ100%、78社創業(H23.11)

圏央道周辺のストック効果

- 圏央道の早期に開通した区間では既にストック効果が発現



出典:工業統計調査

ストック効果

世界へつながる！ 呼び込む企業と雇用



日本海沿岸東北自動車道(新潟県) ・京浜港(首都圏)

沿道に航空機内装品の世界的企業が進出

道路整備を見越し、新潟県村上市に航空機内装品の世界トップメーカーが進出

- 世界シェア約5割 (化粧室(ラボトリー))
- 世界シェア約2割 (厨房設備(ギャレー))

道路ネットワークや港湾を活かした効率化で事業規模を順次拡大

- ・操業開始(H2)
- ・増築(H3~)
- ・開通を機に、新規に倉庫を建設(H27)

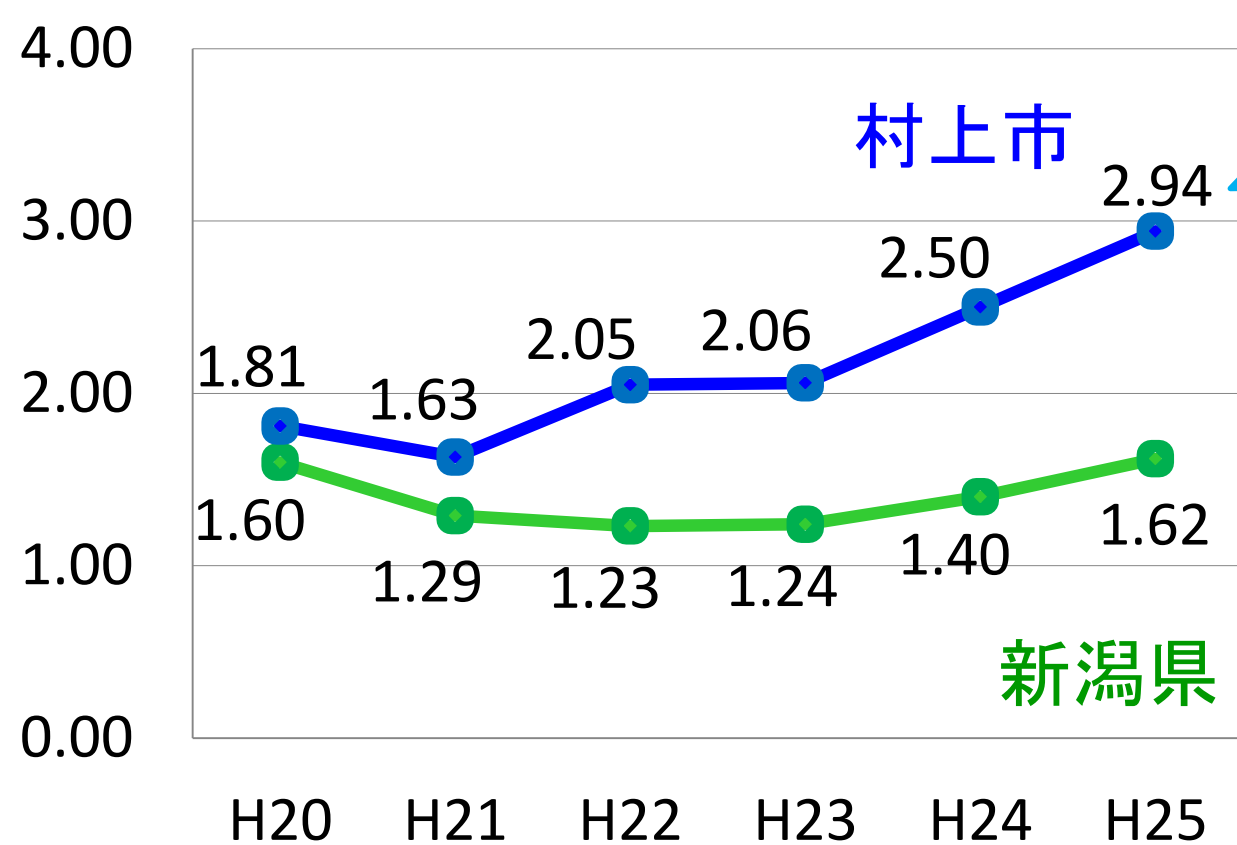
順次開通する日沿道を
活用して事業を展開

世界に認められた高品質を支える「人のチカラ」として、地元から大量雇用(H25~H26年で300名から250名増員し、550名に)

**現在は、操業当初の約6倍の面積！
社員を増員、地元新卒者を採用！**

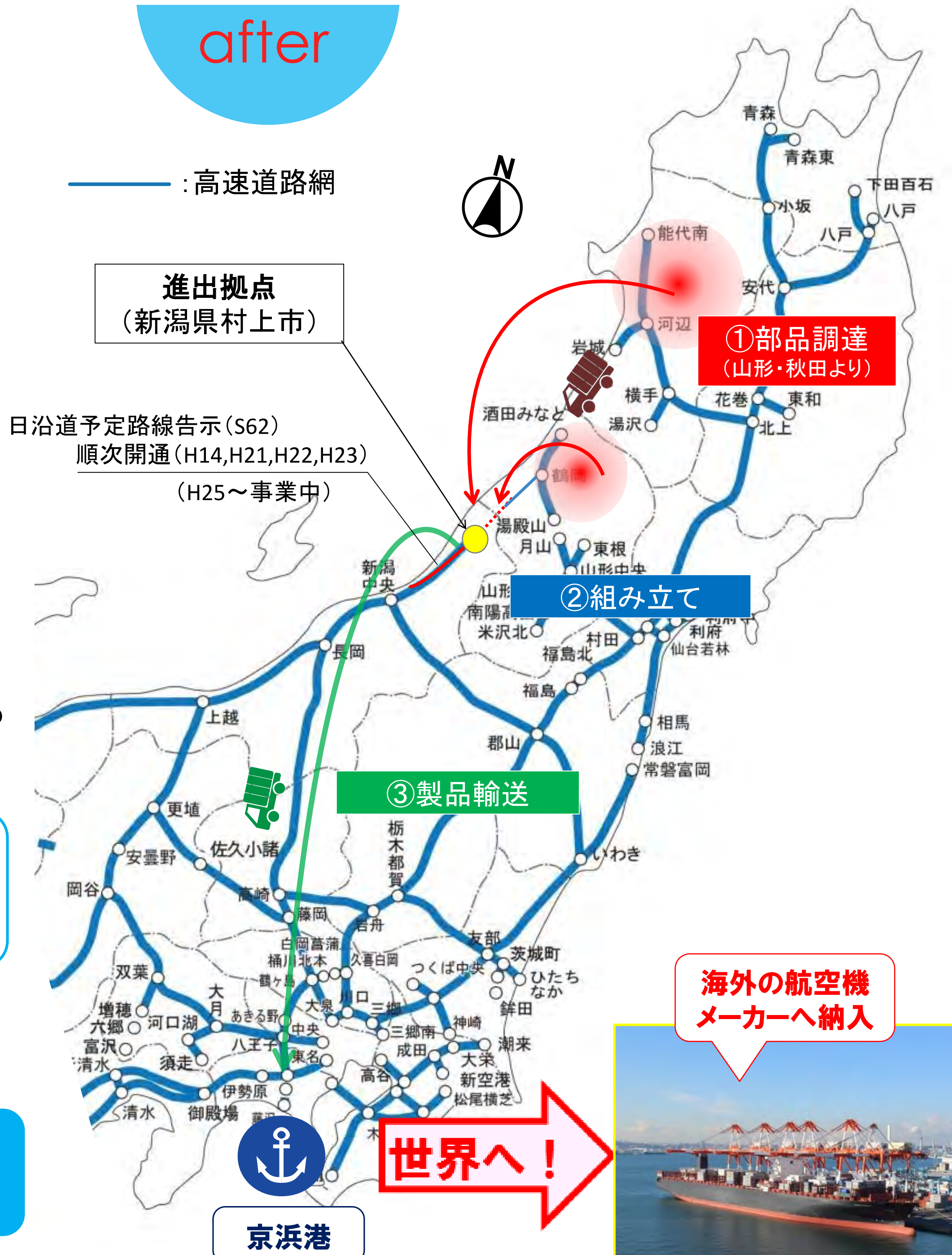
※各種データ：(株)新潟ジャムコへのヒアリング(H27.2)より

高卒求人倍率の推移



県平均に比べ
約2倍の高水準
で推移

出典)ハローワーク村上:雇用統計情報より



海外の航空機
メーカーへ納入



ストックリ
効果

新幹線開通等を契機に本社移転！ 海岸整備で守る経済！



北陸新幹線・下新川海岸事業(富山県)

北陸新幹線開通



北陸新幹線の整備により、**移動時間の短縮効果**が発生し、**交流人口が増大**



before

after

特にYKKは、**震災への備え**や**新幹線開業を契機**に、平成27年より黒部市へ**本社機能一部移転**、**研究開発拠点集約の計画を発表**

本社機能の移転等により
住環境整備が進展！



国内で**唯一の部品専門工場**である黒部越湖製造所が被災した場合、**全製造拠点にも影響**

YKKAP黒部越湖製造所

黒部市

H20年高波浸水地域

黒部宇奈月温泉駅

黒部越湖製造所(建材部門の基幹工場)

部品ライン一覧

- ・ビス
- ・ダイカスト
- ・プレス部品
- ・形材部品
- ・塗装
- ・樹脂部品
- ・ガスケット
- ・網戸部品
- ・機能部品



国内25製造拠点に部品を供給

※YKK AP黒部越湖製造所作成資料

ストック効果

内陸の大動脈がもたらす 産業・防災拠点の新たなフロンティア



至東京

新清水JCT

新東名高速道路(静岡県)

至名古屋

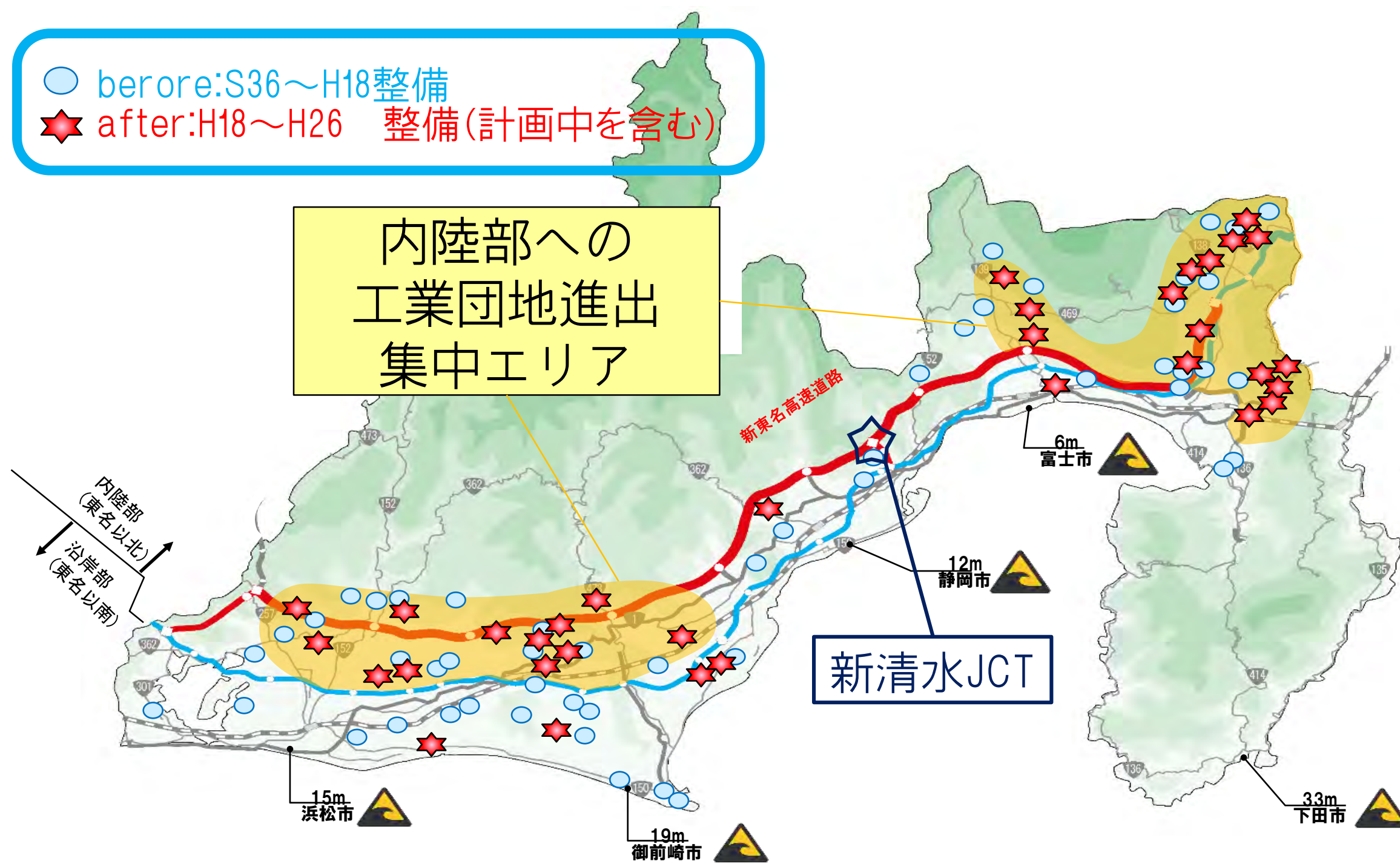
before

新東名高速道路開通前(H18)

after

新東名高速道路開通後(H24)

● before: S36~H18整備
★ after: H18~H26 整備(計画中を含む)



- 新東名高速道路の開通時期が平成18年に公表されて以降、津波の被害がなく地盤が強固な内陸部の開発が加速
- 静岡県においては、「内陸のフロンティアを拓く取組」を推進
- 新東名高速道路を軸とした、防災・減災と地域成長の両立を図るまちづくりを推進。

▲ : 南海トラフ巨大地震(レベル2の地震)の最大津波高

出展: 静岡県資料を元に作成

内陸部へ工業団地開発が拡大

内陸部・高台部のイノベーション

沿岸・都市部のリノベーション

内陸部の
開発が加速

【内陸部への企業進出事例】

【内陸部への企業移転後の跡地利用例】

<浜松市北区:スズキ(株):雇員人数2,200人※2>

「東日本大震災の発生を受け、津波被害が予想される静岡県磐田市竜洋地区拠点の移転のために浜松市北部の都田(みやこだ)地区に用地を確保。災害に対する対応力を高めてまいります。」※1



写真: 浜松市提供

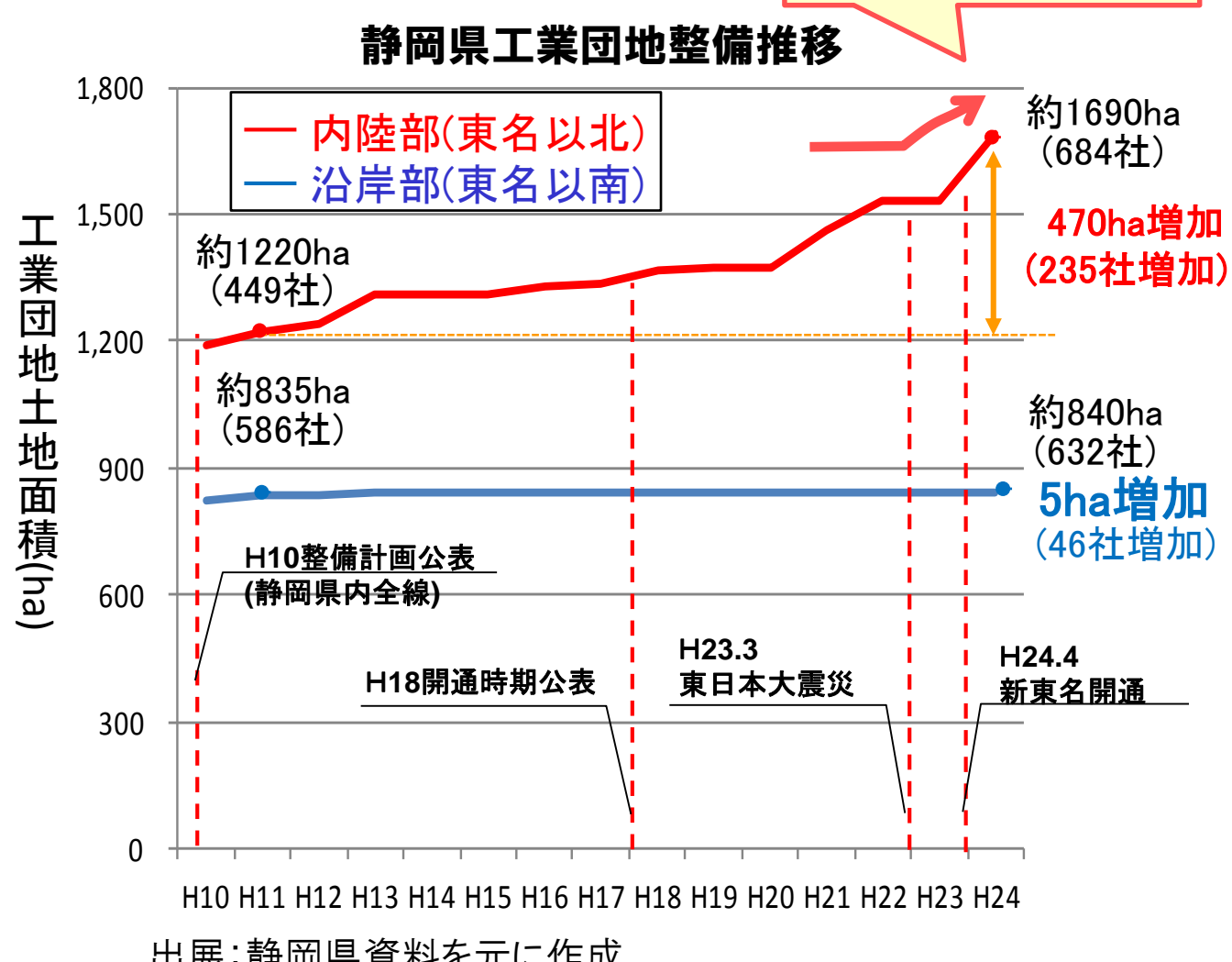


出展: ※1スズキ(株)資料
※2静岡新聞

内陸部に移転した企業跡地の農地化を推進する等、沿岸・都市部のリノベーションを推進



静岡県農地イメージ写真
静岡県提供



出展: 静岡県資料を元に作成

ストツク
効果

阪和自動車道整備による インバウンド観光振興



阪和自動車道(和歌山県) ・関西国際空港(大阪府)

- 往復時間が短縮し、長時間滞在が可能となったことから、観光消費額が増加
- 外国人観光客の増加も顕著であり、関西国際空港からの道路アクセス向上により、新規観光客を獲得
- 外国人来客数の増も含めた新たな観光ルートの確立に期待

関西国際空港からの入国外国人人数
約115万人(H14) **約2倍** 約232万人(H25)

白浜町への外国人観光客が増加
約0.8万人(H14) **約7倍** 約6万人(H25)



20年間で売上が約4割増

①とれとれ市場(大型商業施設)



②白良浜



③アドベンチャーワールド

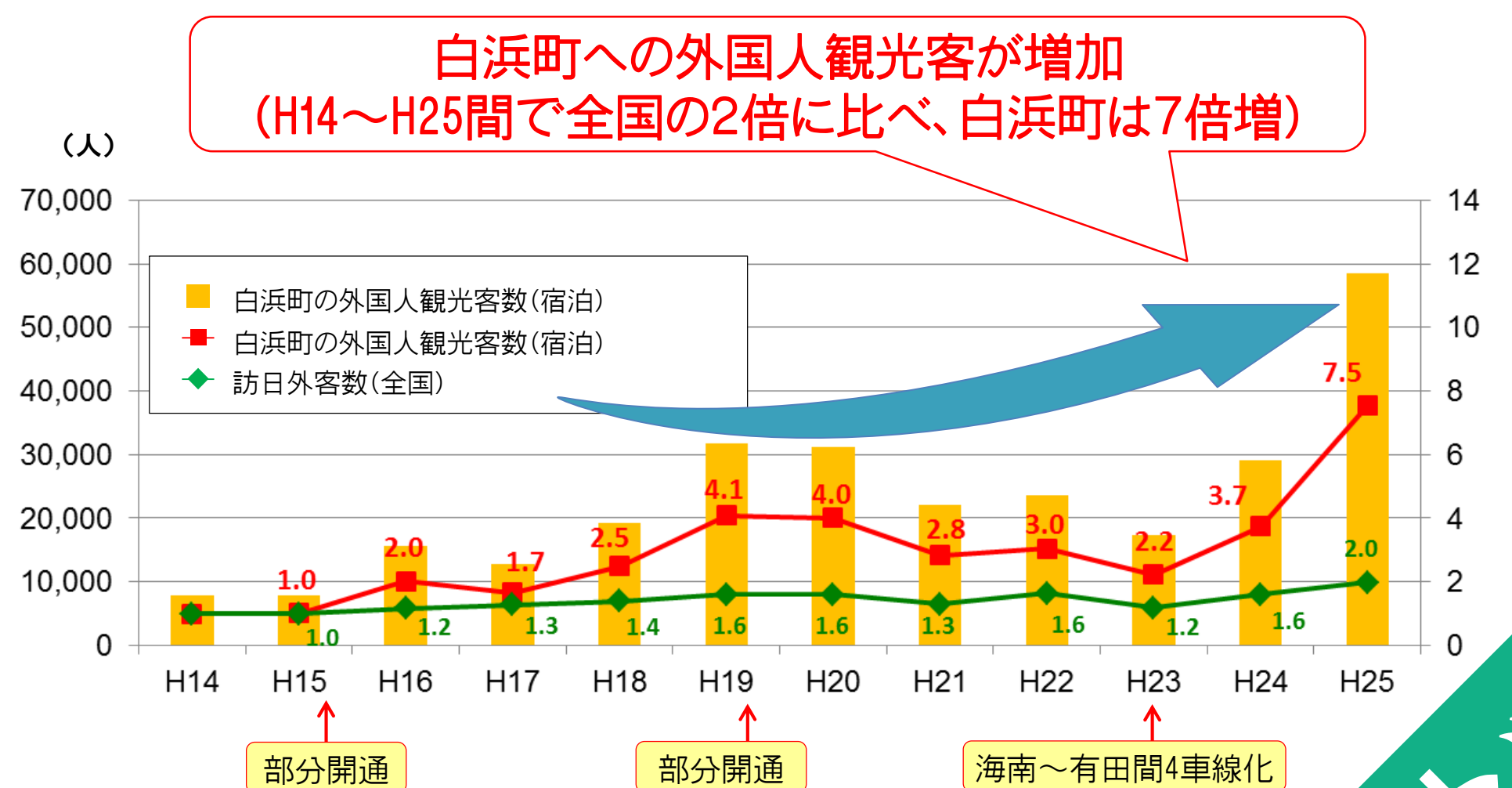


白浜町への利便性向上が、1人あたりの観光消費額増を後押し

外国人来客数の増も含めた新たな広域観光ルートの確立に期待

年	阪和自動車道 開通区間	アクセス時間※1 (大阪市～白浜町)	日帰り客1人当たり 観光消費額※2
H14	松原JCT～御坊IC	4:06	4,154円
	約27kmの延伸	往復約3時間の短縮	約1.8倍
H20	松原JCT～南紀田辺IC	2:33	7,646円

※ 1) アクセス時間:【事前】H17道路交通センサスより算出、【事後】H22道路交通センサスより算出
※ 2) 観光消費額:和歌山県観光統計調査報告書(H21.3)



ストツリ
効果

水質改善で 松江に新たな観光名所が誕生!!



松江堀川浄化事業(島根県)

● before

昭和40年代 水質汚濁が深刻な堀川



平成8年から宍道湖の水を
堀川へ導水

へドロの堀から  清らかな堀へ

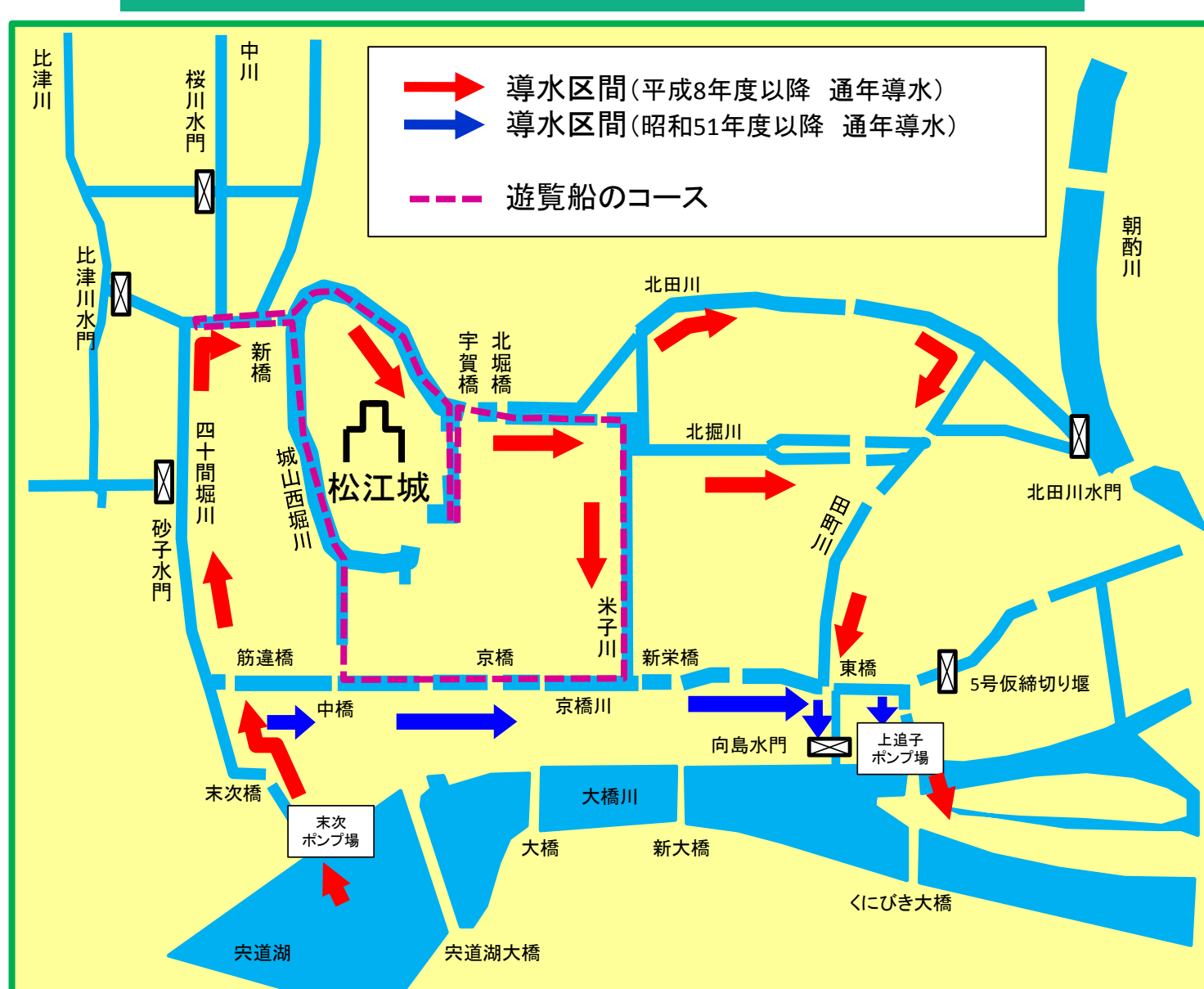
● after

平成9年 遊覧船就航(年間30万人が利用)

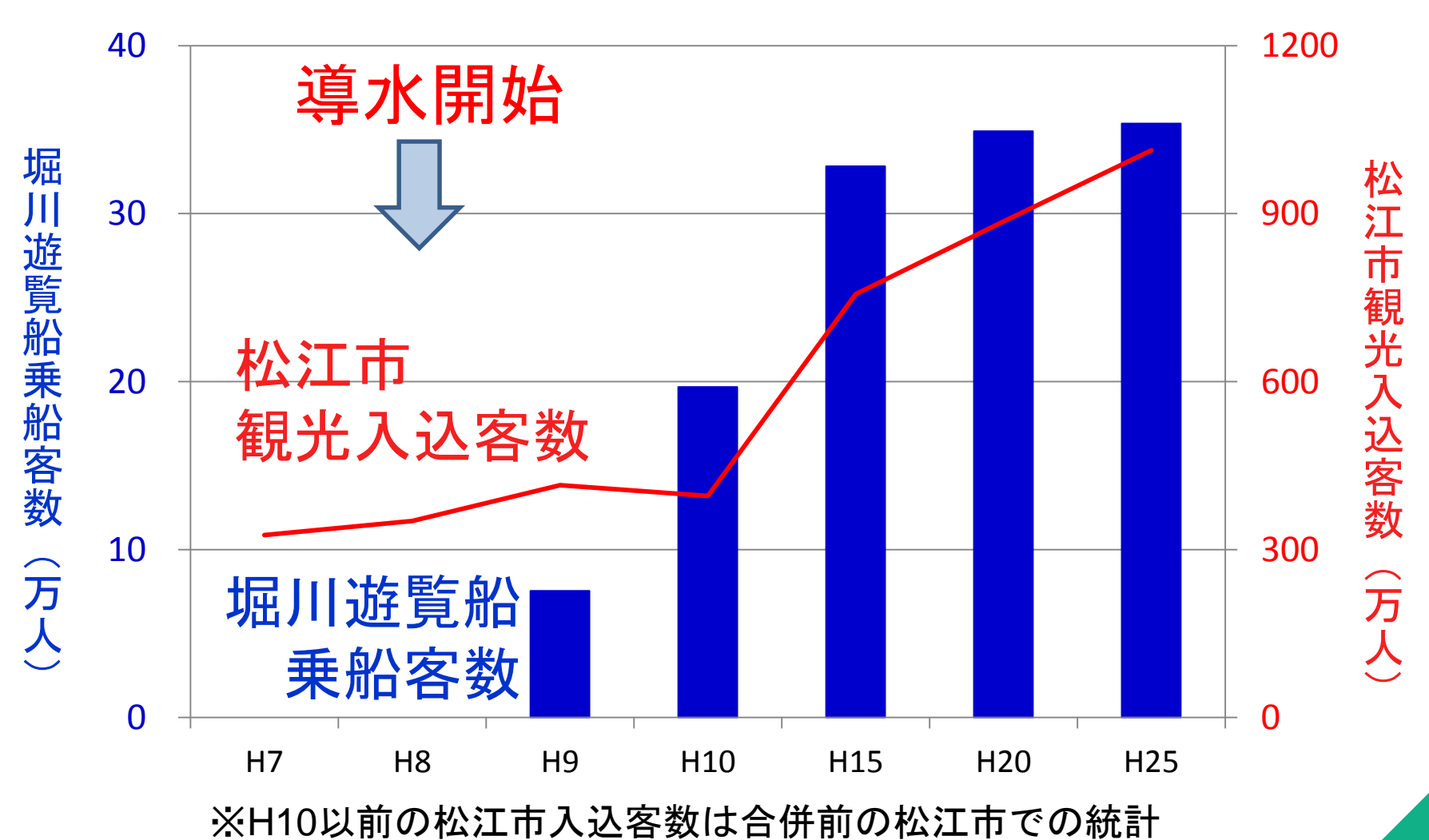


- 堀川の水質改善を図るため、平成8年から宍道湖の水を堀川へ導水する事業を開始
- 平成9年には、堀川遊覧船が就航し、年間利用者約30万人規模の観光スポットとして定着
- 遊覧船の案内を高齢者の船頭が行うなど高齢者の雇用対策や生き甲斐づくりにも貢献(シルバー船頭さん:66人(うち女性10人))

浄化導水のルートと遊覧船のコース



松江市観光入込客数と堀川遊覧船乗船客数の推移



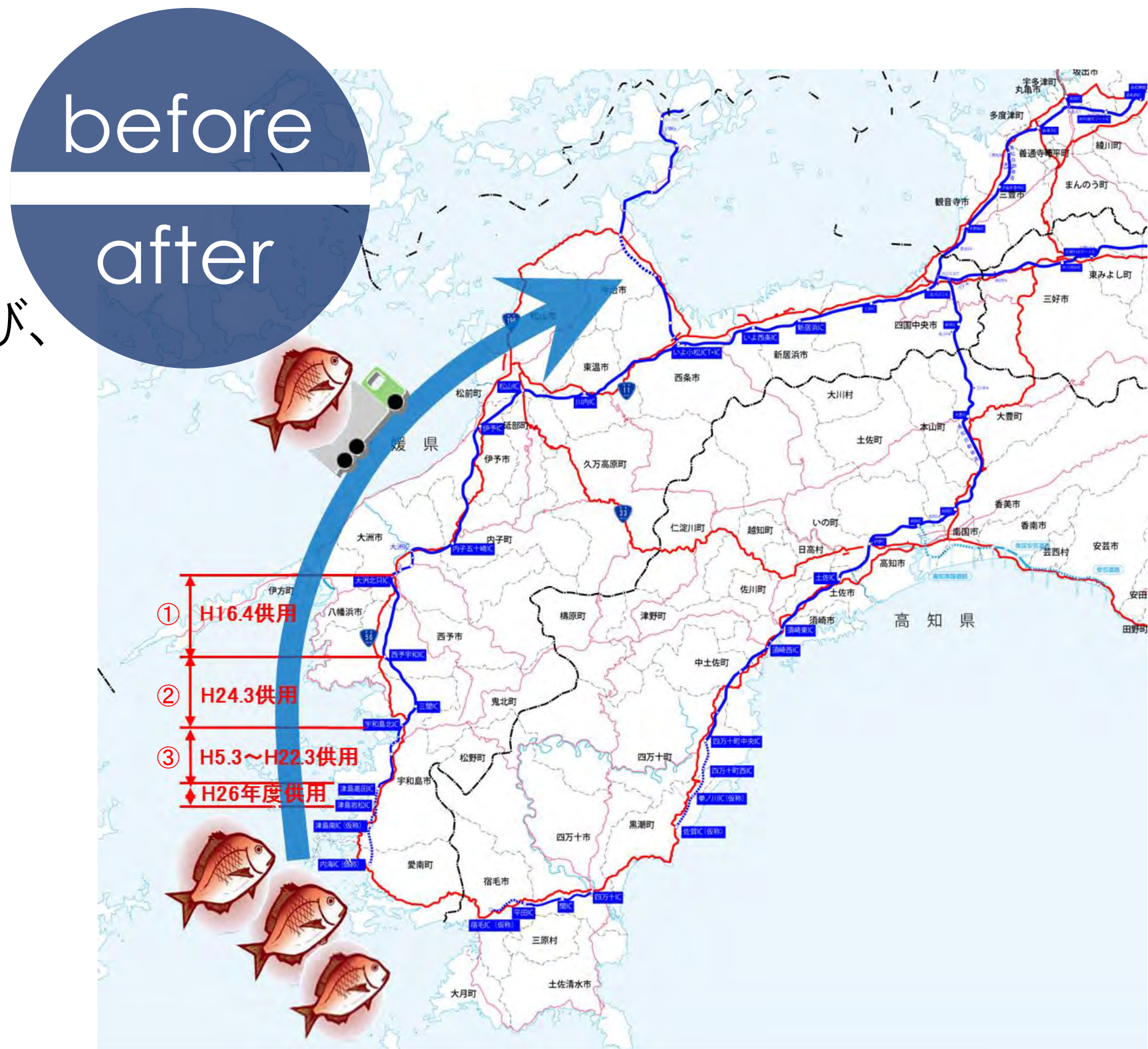
ストツク効果

高速道路ができて 養殖マダイの全国シェアが拡大！

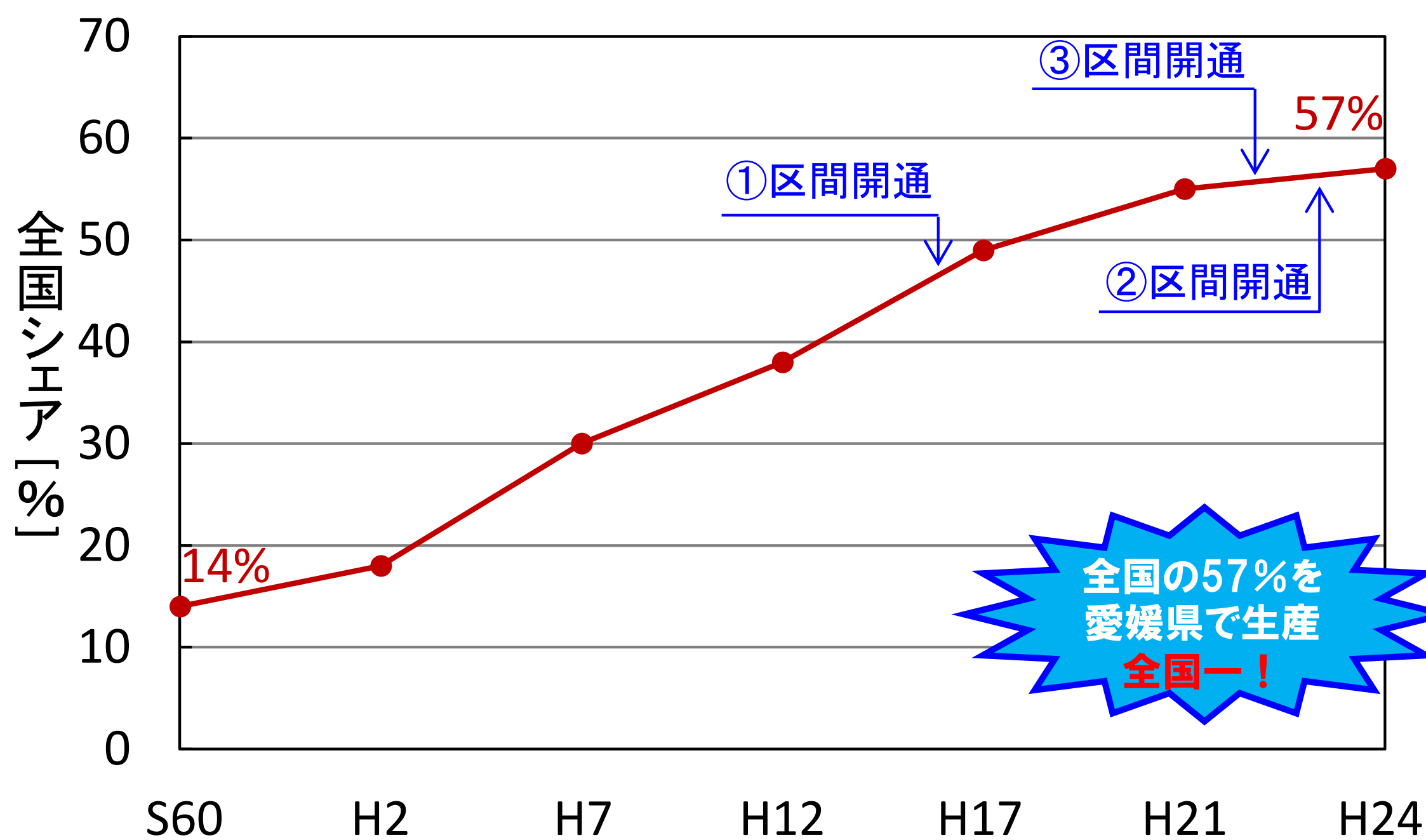


宇和島道路(愛媛県)

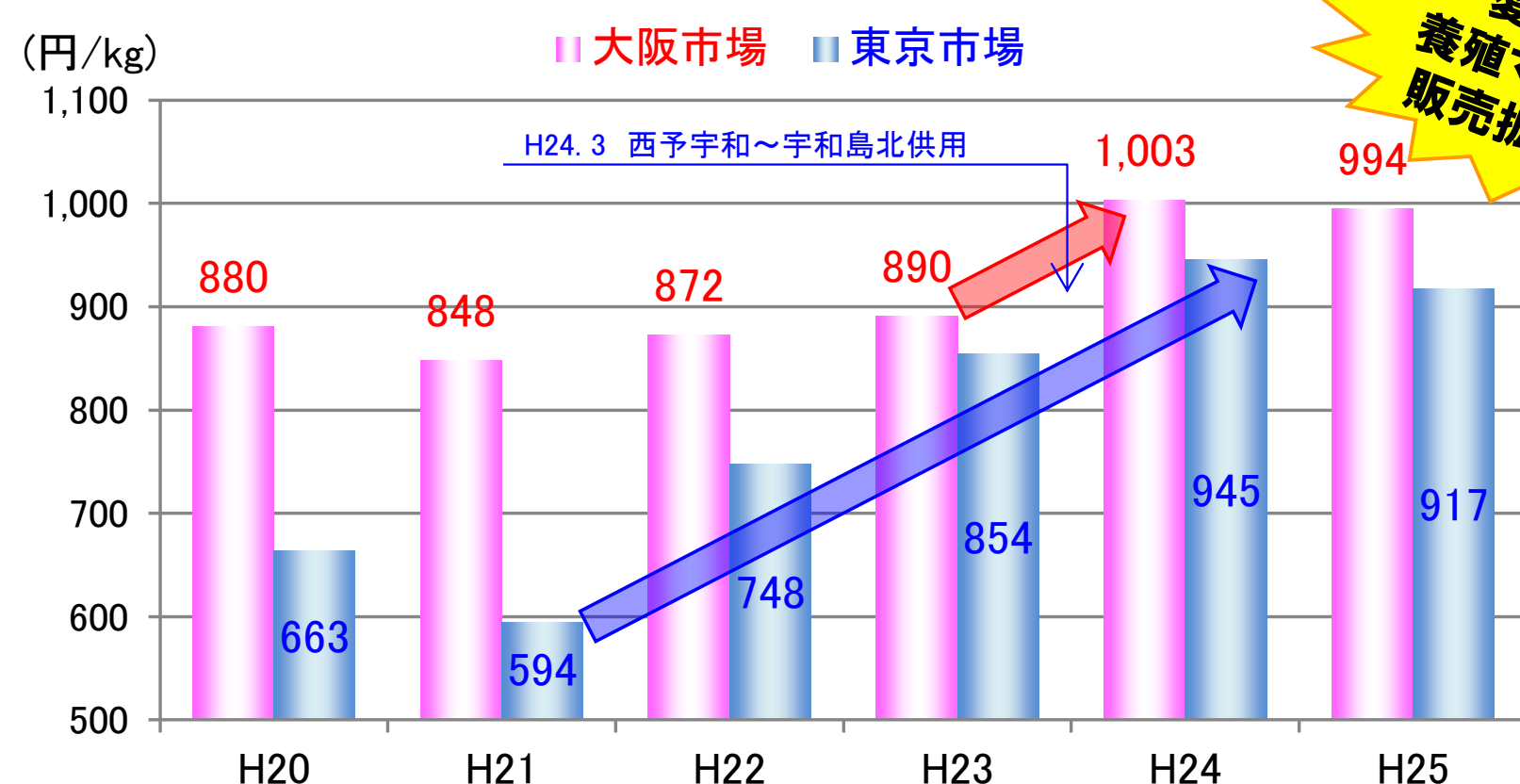
- 宇和島道路の延伸と合わせ養殖マダイのシェアが大きく伸び、**物流ネットワークとして地域の水産業を支援**
- 東京市場及び大阪市場における養殖マダイ産地としては、**愛媛県産地が占有率全国一**



愛媛県産養殖マダイの全国シェア経年変化



愛媛県産養殖マダイの平均価格経年変化



▲愛媛産養殖マダイの平均価格 資料)大阪府中央卸売市場年報 東京都中央卸売市場年報

ストツリ
効果

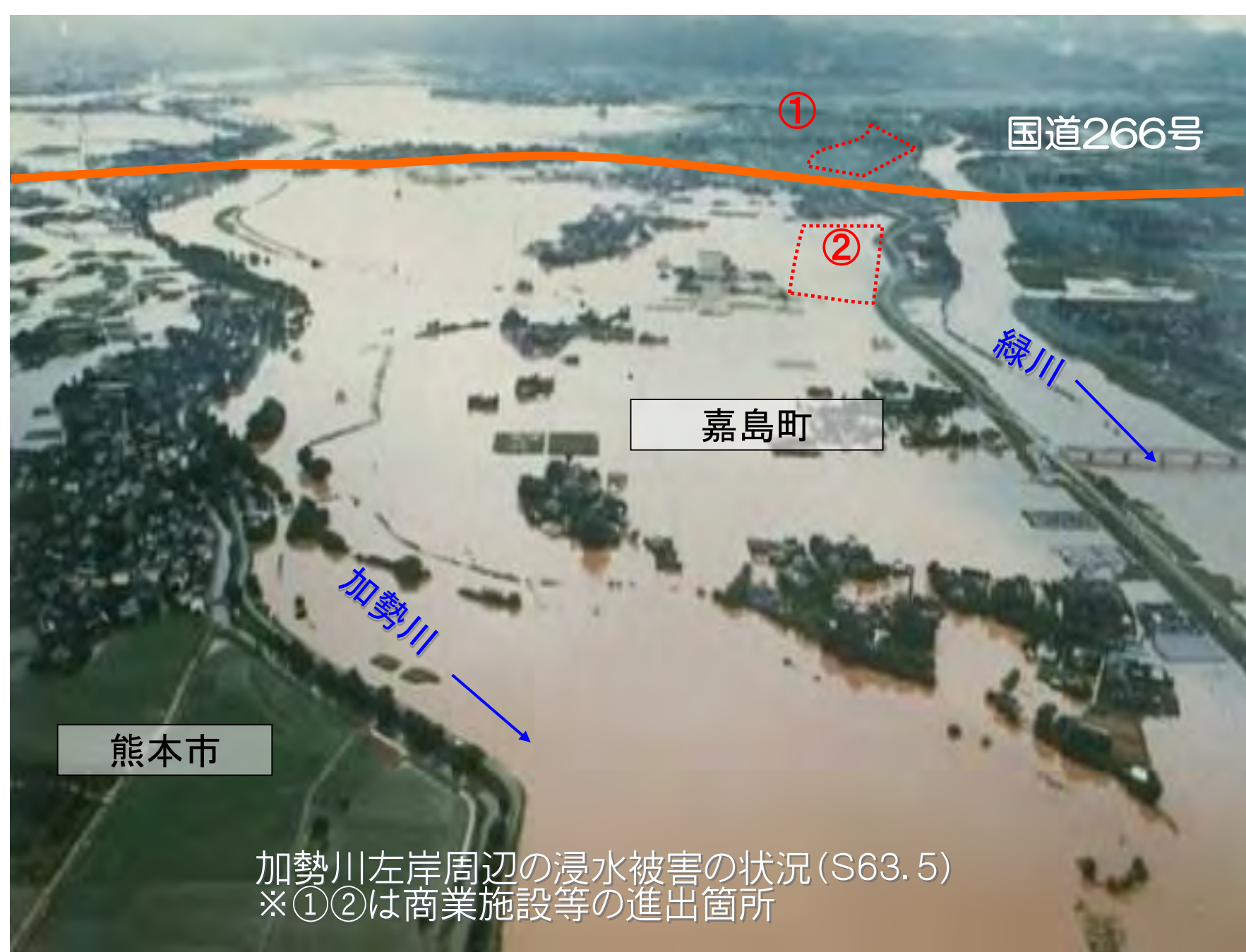
堤防できた！水害リスク減った！ 商工業団地がうまれた！



緑川水系加勢川改修事業(熊本県)

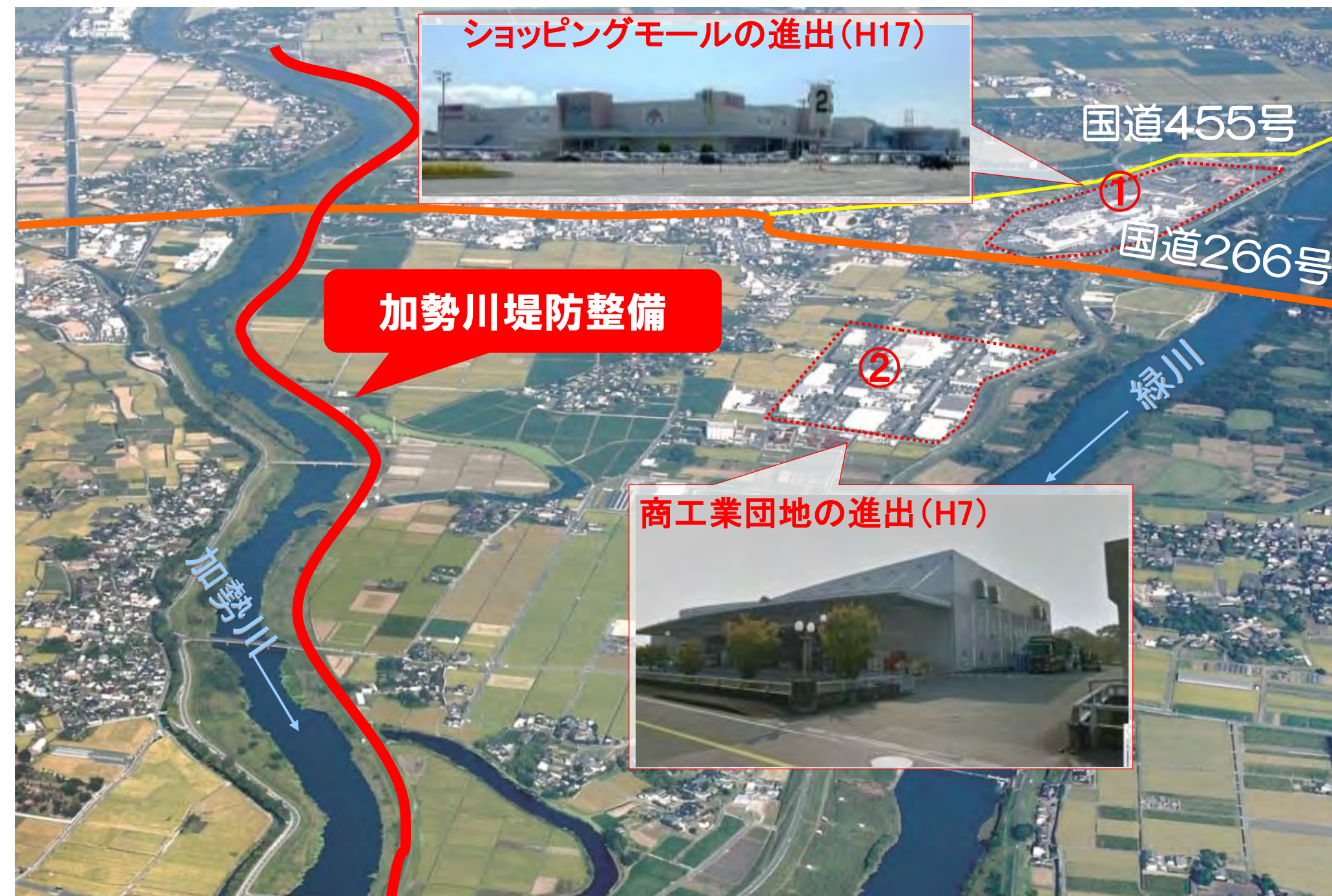
before

整備前の浸水被害の状況(S63.5)



after

整備後(H22.3)



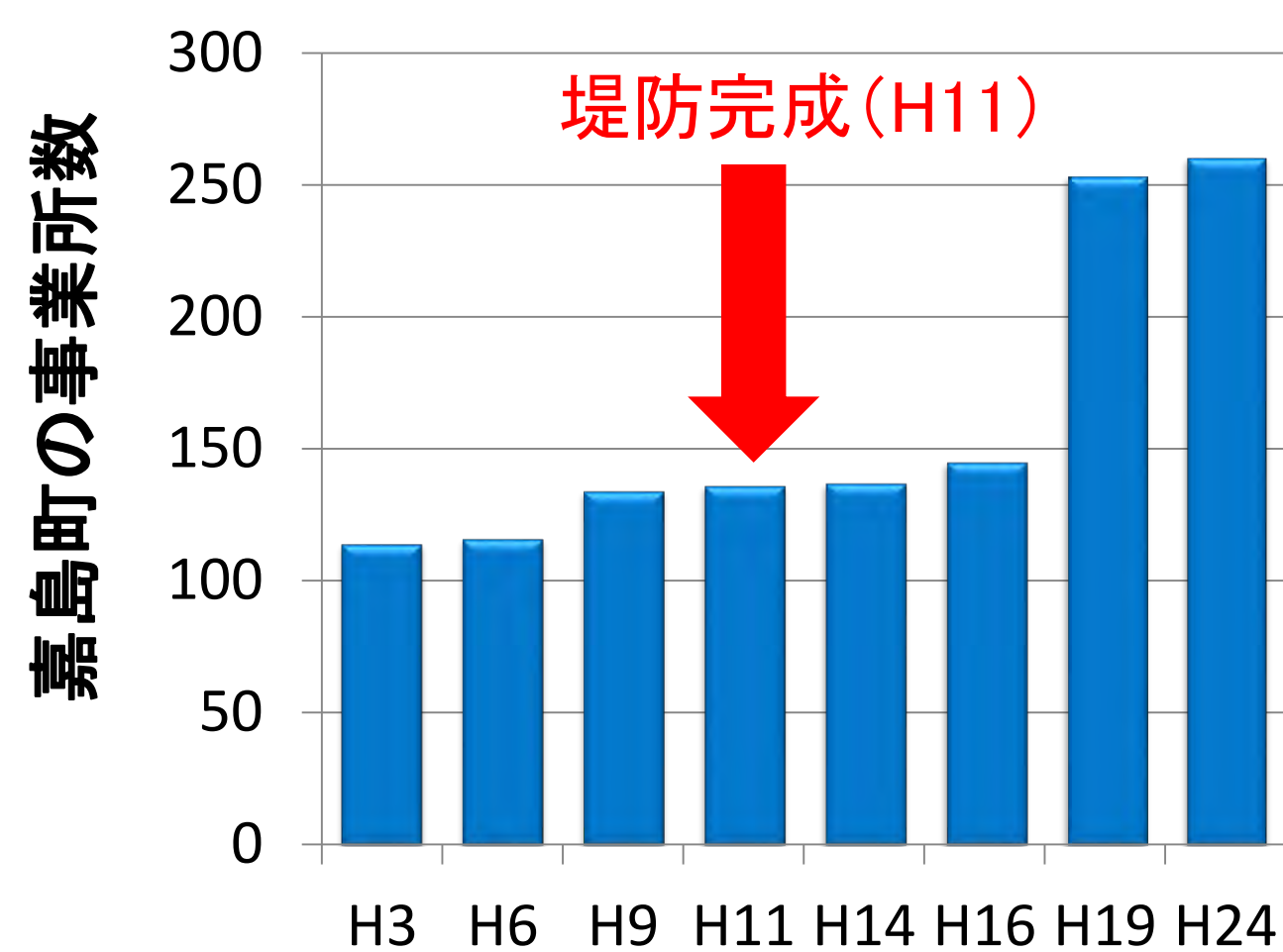
- 従来より洪水による浸水被害が頻発していたが、平成11年の堤防完成後、浸水被害は発生していない
- 水害リスクの減少により、ショッピングモールや商工業団地の進出などで商業事業所数が約2倍に増加(H3→H24)、第3次産業従業者が約4倍に増加(H2→H22)など、地域発展に寄与

企業等の声

『堤防ができたことによって、洪水の心配が少なくなった。企業誘致等町の振興にもつながっており、堤防整備に関して非常に感謝している』(嘉島町長)

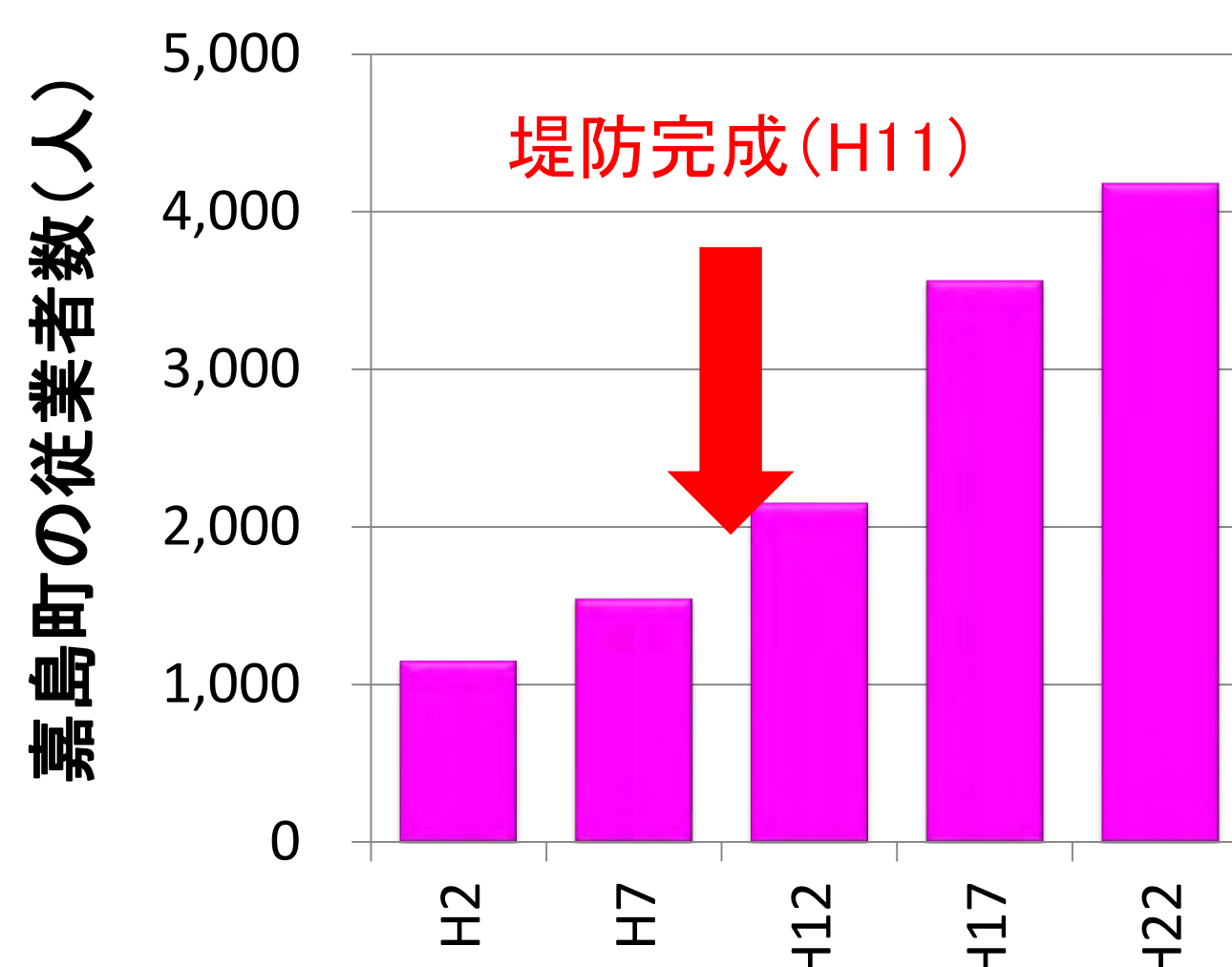
『いろいろ場所を探したが、水と緑が豊かであること、さらに堤防ができたことにより洪水の心配が無くなったため、この場所に進出を決めた』(企業)

商業事業所数が約2倍に増加



出典:「商業統計」「経済センサス」経済産業省

第3次産業従業者数が約4倍に増加



出典:「工業統計」
経済産業省

ストツク効果

林業再生！

つなぐ、ひろがる、輸出商機！



日向市細島港、東九州自動車道(宮崎県)

Before >>> After



- 細島港や東九州自動車道整備の進展により、**大手製材メーカーが進出**
- 地域の木材を輸出する新規ビジネスにより**国産材輸出货量が急増し、林業が再生**

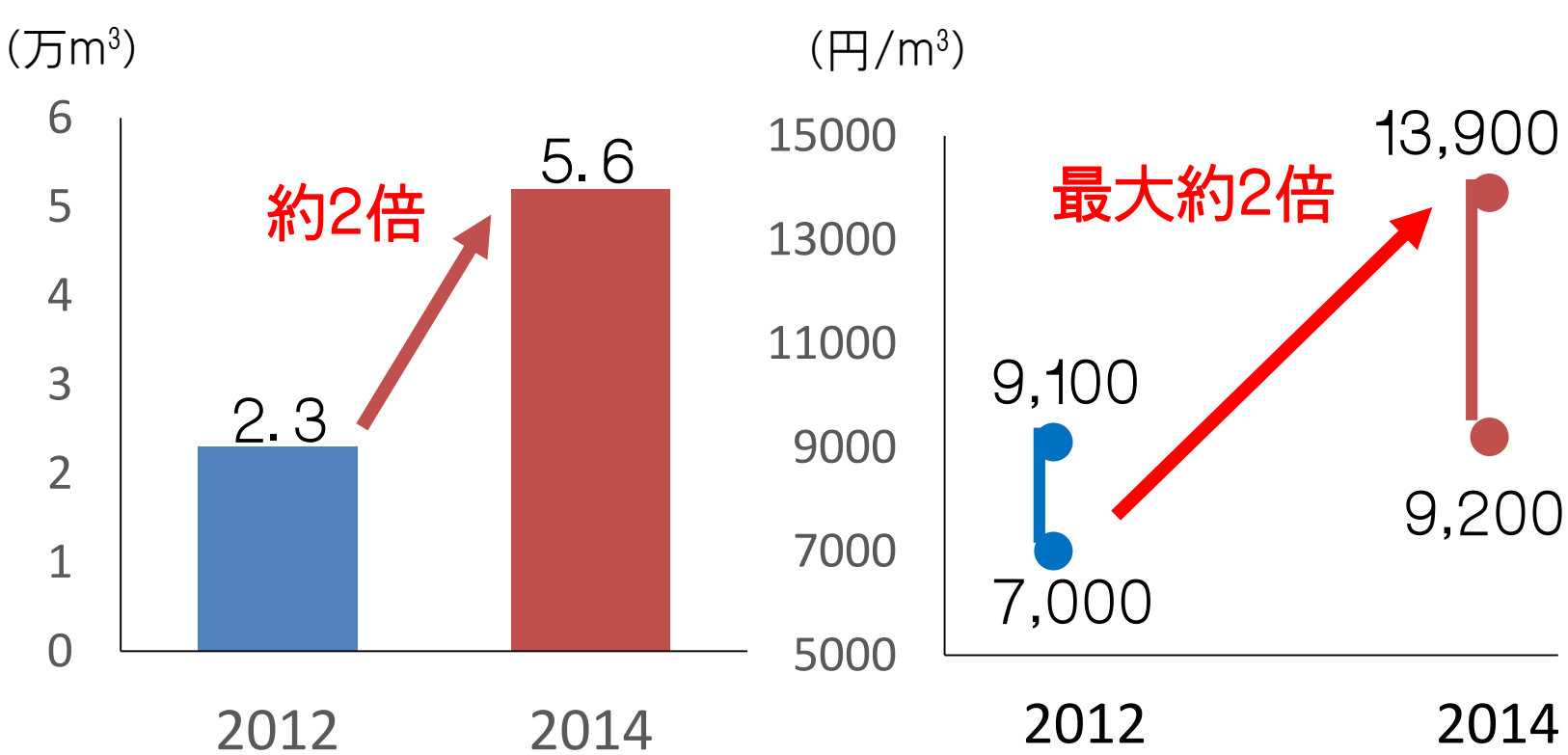
木材を港湾から海外(中国、台湾等)に輸出！！



地域の木材が輸出産業化

中国木材(株)の細島港への進出(2014年操業開始)

■木材輸出货量増加 ■木材価格の上昇(宮崎県:スギ)



進出理由

- 林産地に近接して細島港があり、利便性が高い
- 細島港における岸壁新設(2011年着手、2014年完了)
- 東九州自動車道の整備

細島港周辺では、ここ10年間で

企業立地	設備投資	貿易額
38件	約740億円	約2倍増

国産材輸出により林業再生、雇用増加

ストツリ効果

新滑走路整備で

より大きなジェット機、直行便就航



新石垣空港(沖縄県)

before

旧石垣空港(滑走路1,500m)



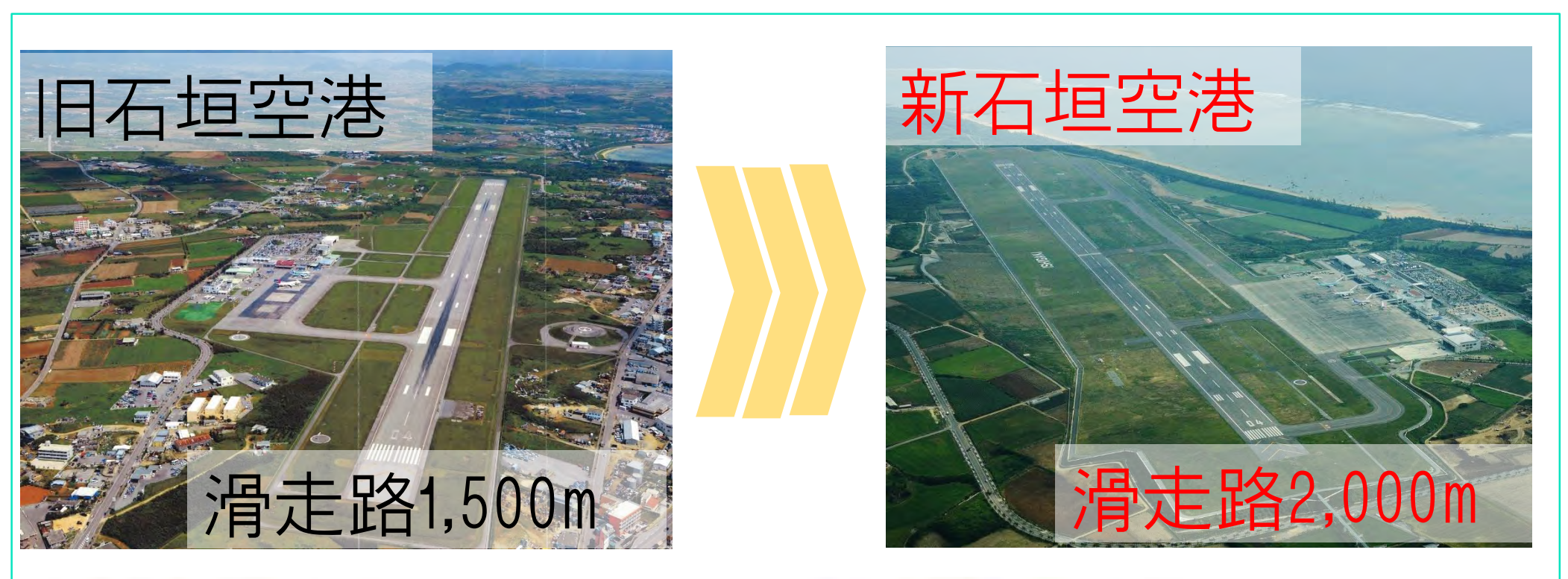
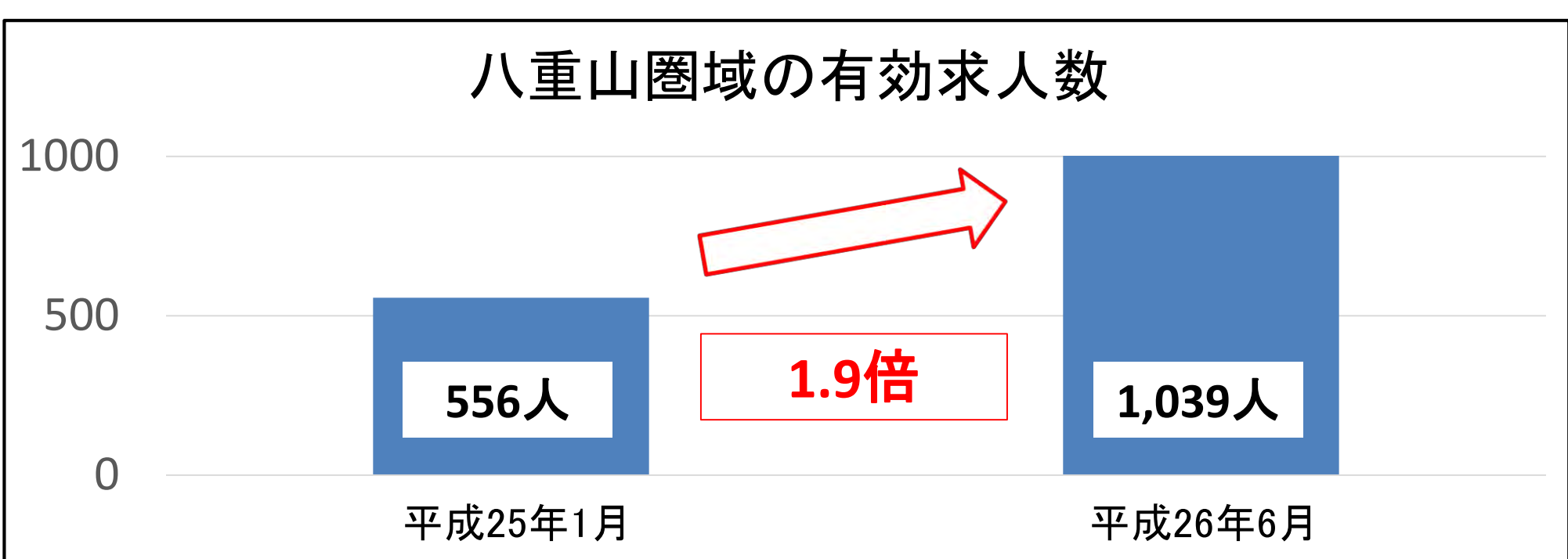
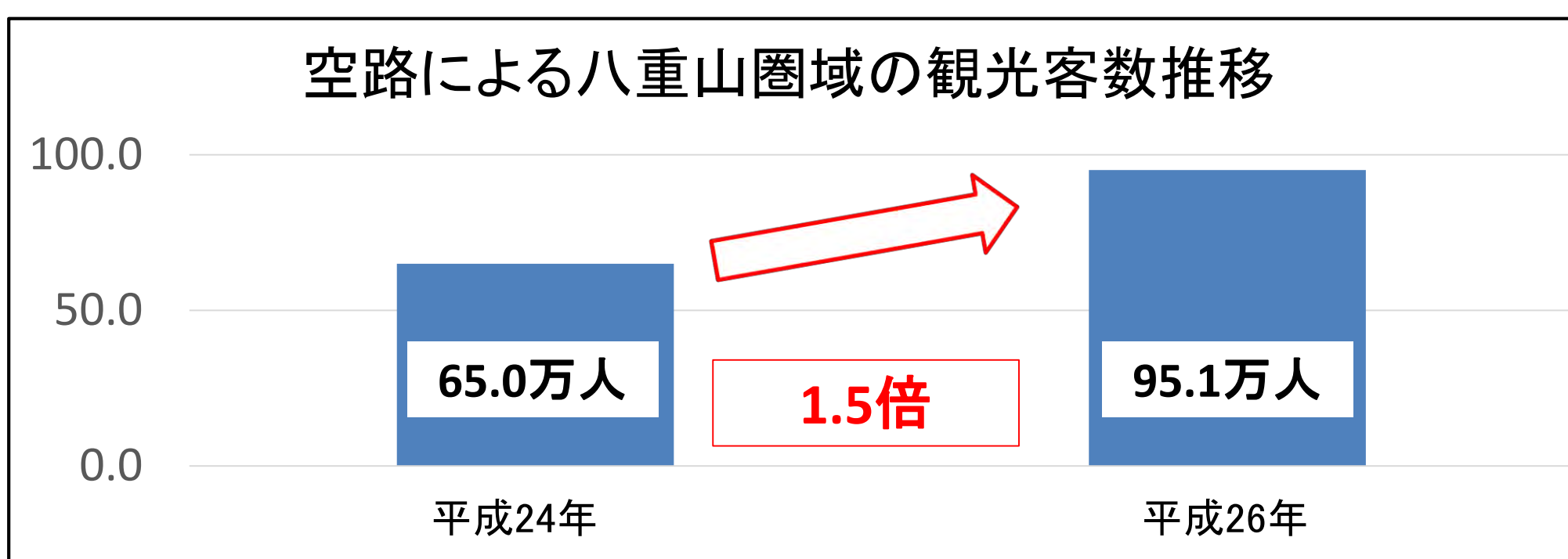
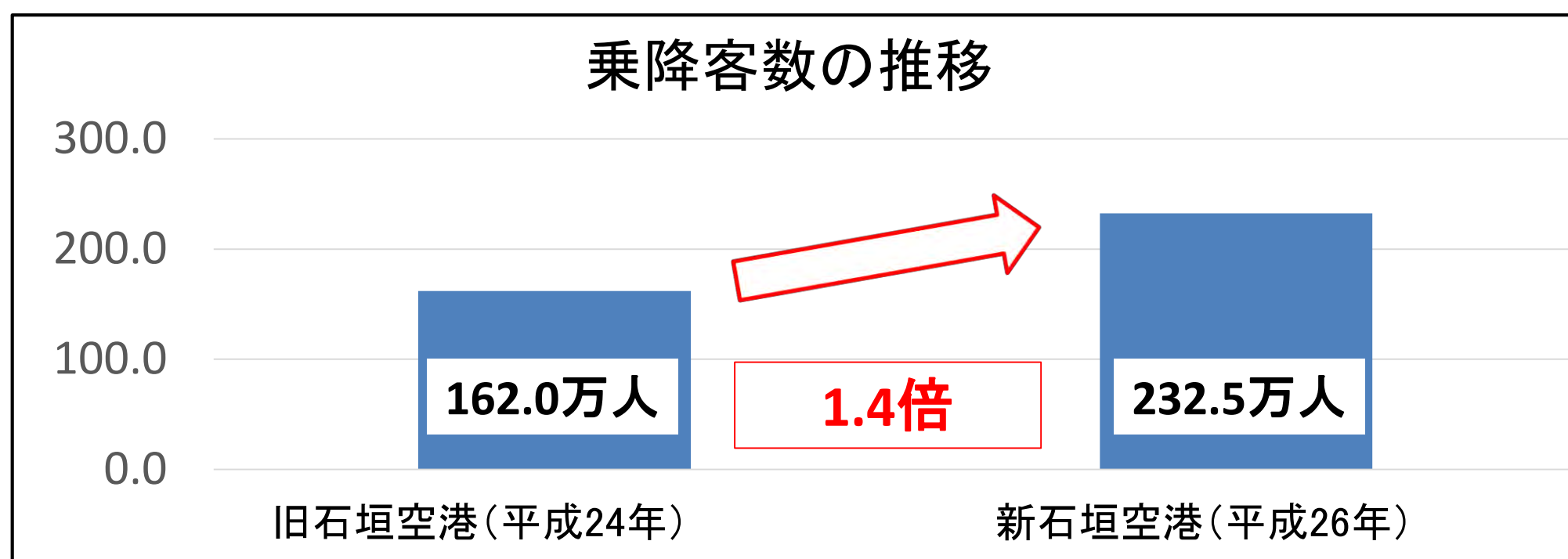
after

新石垣空港(滑走路2,000m)

- 石垣島に新空港を整備し、これまでより滑走路を延長



- 従来の小型ジェット機から、新たに中型ジェット機の就航が可能に
- これまで就航できなかった石垣島から羽田空港への直行便の就航が実現



ストツリ効果